

訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます(平成24年4月30日までにご連絡をいただいた方)

32 小川 清登 2011/8/29	40 松沢 一夫 2011/12/27	48 小口 高 2010/12/27	56 篠達 允彦 2011/6/9
33 永田善一郎 2010/1/12	41 中沢 正喜 2009/6/30	48 両角 寛一 2011/6/1	57 五味 宗穂 2011/3/31
34 金子 功 2011/6/4	42 伊東 清博 2011/8/10	48 金子 光男 2011/5/25	57 増澤 良夫 2010/8/
34 横沢 茂 2008/9/21	42 小口 信 2011/3/30	48 関 文武 2010/7/2	58 栗林 孝嘉 2010/7/21
35 遠山 益人 2010/1/7	42 中村 芳郎 2011/1/22	48 岩波 佑次 2012/3/11	58 中込 英雄 2010/10/4
35 大宮 一朗 2011/10/11	43 赤羽 祐治 2010/11/5	48 由井 一雄 2010/9/20	58 長坂 省治 2010/
35 金子 裕 2009/12/21	43 久保田政弘 2011/10/19	49 伊藤 清治 2012/2/16	58 岩波 勲 2009/5/5
35 岡西 良治 2011/4/20	43 小松 曼耆 2010/12/24	49 林 忠男 2010/7/31	59 歌田 實 2012/1/25
35 林 辰治 2011/6/24	45 鮎沢 啓夫 2011/1/10	49 広瀬 正次 2010/10/18	59 山岡 弘明 2012/4/4
35 矢崎 秀彦 2011/12/5	45 篠原 千之 2011/7/6	49 福島 脩一 2011/9/24	60 荻原 国宏 2011/2/16
36 田中 治作 2007/3/6	45 新村 浩久 2011/1/14	49 米倉雄二郎 2011/9/5	61 薩摩林 正 2011/10/14
36 原 孝 2010/7/24	45 水野 正昭 2010/9/9	50 伊藤 数義 2011/3/17	61 白鳥 健二 2010/9/2
36 降幡 利治 2010/5/2	46 岩尾 秀嶺 2010/12/20	50 小口喜代人 2011/6/23	61 矢崎 幸生 2011/4/21
36 山田 直勝 2010/6/23	46 北原 正信 2011/10/9	50 河西 清光 2011/12/21	63 小松 利彦 2009/3/30
37 小城 安正 2011/6/23	46 小松 幸三 2010/6/13	50 五味 正博 2011/1/11	63 田中 祐昌 2011/3/1
37 横内 久雄 2009/6/14	46 滝沢 潔 2011/12/20	50 薩摩林介美 2011/12/12	63 塚越 洋 2011/2/5
38 小林 充利 2009/12/19	46 田中一太郎 2012/1/5	50 篠原 節 2010/8/17	64 小口 登良 2010/2/19
38 小松 雅雄 2010/10/16	46 降幡 英人 2011/4/18	50 杉原 昭平 2010/9/13	64 白川 宜嗣 2011/11/20
38 藤森 鐵雄 2011/11/7	46 増沢 義幸 2009/6/30	50 土橋 健三 2011/5/19	64 高木 昭彦 2012/1/28
38 穂川 久光 2010/12/31	46 三澤 三平 2011/9/16	50 羽田 忠彦 2010/10/9	65 三澤 郁美 2011/5/1
38 武川 忠一 2012/4/1	46 山田 稔 2012/3/4	50 柳澤 惟一 2011/3/21	67 小飼 三雄 2012/3/27
38 北原 次良 2011/6/4	47 池内 真明 2005/4/14	51 稲垣政之輔 2010/12/13	68 茅野 昭彦 2010/11/
39 金山 利夫 2009/7/23	47 小口 裕康 2011/8/17	51 小口 勝己 2011/2/17	73 高木 昭 2011/3/19
40 有賀 四郎 2010/10/18	47 笠原 松吉 2010/12/8	51 酒井 嘉也 2011/11/1	94 宮坂 勝成 2011/11/2
40 伊藤 豊次 2011/7/8	47 小林 秀春 2010/9/29	51 戸沢 充則 2012/4/10	
40 久保 尚彦 2008/	47 藤森 篤 2011/9/7	52 柏田 邦彦 2011/10/4	
40 土橋 久男 2011/7/25	47 宮坂 修吉 2011/6/5	52 原田 睦明 2011/8/26	

事務局だより

◆母校創立80周年を機に、昭和52年(1977)に母校の教育支援を目的とした「財団法人諏訪清陵会」が発足。総会などで報告してまいりましたように、平成20年12月に施行された新公益法人制度に対応して、本年3月21日付で県知事より認可を受け、4月1日より新法人として「一般財団法人諏訪清陵会」の名称で再出発。名称は変わりましたが、今までの法人の事業は継続。

◆平成23年度中の「清陵OB文庫」へ寄贈頂いた図書等は下記の通り。有難うございました。なお、上梓されました節は、同窓会OB文庫へご恵贈頂けますれば幸いです。

・飯沢文夫(72回)編『地方史文献年鑑—郷土史研究雑誌目次総覧—2010—』(編者より)

・岩崎信子(62回)著『かるいさわいろ拾遺—出会いの風景 軽井沢—』(著者より)

・鳥羽研二(73回)著『ウイズ・エイジング—何歳になっても光輝くために—』(著者より)

・双樹会(52・55回)編『清陵双樹会美術展作品集I～V』(双樹会より)

・片野 満(56回)著『至誠貫く—渡辺千秋・国武兄弟物語—』(著者より)

・『岡工100年のあゆみ—ものづくり—世紀—』(岡谷工業高校同窓会より)

・五味幸男(44回)著『ああ博浪の槌とりて—人間中島喜久平と諏訪の育英—』(77回生より)

◆昨年7月、日本鱗翅学会などの会員で国内外の蝶の研究で有名な大先輩・原雅幸氏(39回生)より同窓会に多額のご寄附を頂戴いたしました。心より御礼を申し上げます。旧制諏訪中学校在学中には三澤勝衛先生の授業を直接体験なされ

た方で、昨年10月に清陵会館で開催された三澤文庫講座(第6回)では、「私の蝶人生と三澤勝衛先生」と題して貴重なお話を頂いております。

◆市民新聞グループ社長・薩摩林正氏(61回生)が昨秋ご逝去なされ、10月に同窓会へ多額のご遺志金を頂戴いたしました。茲に心より御礼を申し上げますとともに、衷心よりご冥福を祈り上げます。同窓会の諸事業その他で紙面を飾って頂き、また創立110周年記念事業では三澤文庫の施設整備のために多大なご協力を頂きましたことなど思い出されます。

◆平成24年度学校同窓会係・事務局

・学校同窓会係:武居美博(主任・77回) 濱 恒弘(78回) 吉田和正(79回) 奥村達朗(86回) 辻 清隆(86回) 小宮山健司(87回) 藤森秀則(88回) 小口 稔(学校事務長・83回) 事務局:林 隆憲(事務局長・68回・月曜日と木曜日に出勤) 小口修平(79回・必要に応じ出勤)

電話:0266-58-0356 FAX:0266-57-0348

E-Mail: dousoukai@suwaseiryoy.jp

ホームページ: http://www.suwaseiryoy.jp

◆この4月からしばらく前に母校で音楽を教えていた林隆憲(68回)が事務局長を勤めて頂くことになりました。母校80周年・校舎改築・100周年など、節目の大事業に事務局で長い間ご苦労頂きました小口祐一(47回)・木下芳英(48回)両先輩の後を受けて、平成12年度より私が事務局の仕事を引継ぎました。以来この3月まで年数だけは重ねてまいりましたが、同窓会に對しまして如何ほどの仕事のできたのか内心忸怩たる思いであります。同窓会の益々の発展を祈念し、ご指導ご鞭撻を頂きました各位に心より御礼を申し上げます。(56回・武居浩明)

清陵同窓会報

自反而縮雖千萬人吾往矣

第38号 発行:諏訪清陵高校同窓会 〒392-8548 諏訪市清水1-10-1 編集:会報部会 第79回生(昭和48年入学)

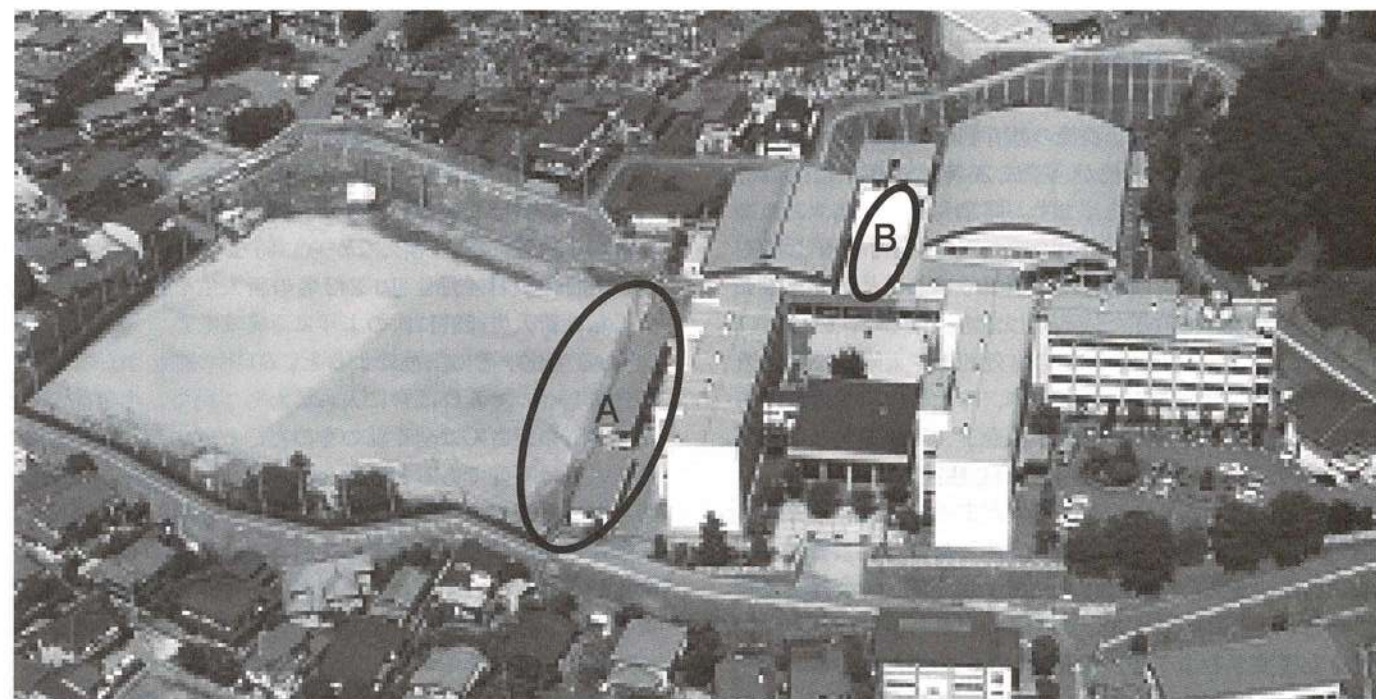
平成23年1月27日、県教育委員会により母校の中高一貫教育の導入が決定し、去る3月中旬の県教委定例会において、平成26年4月開校に向けて、その全体構想の骨格が公表されました。

諏訪清陵高校附属中学校(仮称)は、「明治28年以来の伝統に培われた“高い学力”“広い視野”“強い意志”を基礎に、21世紀の社会に貢献できる優れた人材を育成するとともに、生活全般を通して多様な経験を積む機会を設け、豊か

な人間性や公共性、社会性を育む」ことを教育目標に掲げています。学級編成は、1学年2学級80人で、毎年クラス替えを実施。1単位当たりの授業時間を主に65分とし、道徳やホームルームは50分に設定、毎日10分間の英語学習を取り入れるなどとし、高校時には、附属中から進んだ生徒(内進生)と一般中学から進学した生徒(外進生)を混合した学級・講座編成にしています。

中学生の使用する校舎(中学棟)は、

北校舎と校庭の間にある部室のある建屋を取り壊し、そこに3階建ての新校舎を新築することとなり、そのために現在学友会室が一時清陵会館に移るなどして、開校への準備が順次進められています。同窓会としても学習環境の整備に関する要望などを県に提出するなどし、この歴史的な学校改革をよりよい形で成し遂げられるよう最大限の支援をおこなってまいりたいと考えています。



A: 中学棟新築予定地 B: 部室等移転予定地

平成24年度 定期総会ご案内

- 日時 平成24年6月30日(土)午後1時30分より
- 場所 諏訪市湖岸通り「ホテル紅や」
- 議事 ①平成23年度会務・会計報告
②平成24年度事業計画・予算案審議
③役員改選
④その他

同時開催「講演会・対談」(午後2時30分より)
講師:國友道一先生(前岡山操山中・高等学校校長)
佐倉 俊先生(諏訪清陵高等学校教頭)
演題:中高一貫教育—岡山操山と諏訪清陵—

懇親会(午後4時20分より)
会費:5,000円
前売りチケットは各地区支部・学年幹事まで。当日受付にても可。当番幹事79回生(代表/岩波金太郎 TEL0266-58-6337)

諏訪清陵高校同窓会会長・松下勲(当番幹事79回生、次年度当番幹事80回生、サブ幹事学年89回生、99回生)



中高一貫教育に向けて

同窓会長
松下 勲 (59回)

会員各位におかれましては、益々ご清栄にてお過ごしのことと拝察申し上げます。平素は、同窓会の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今わが国は、輻輳の急とも言える様相を呈しているように思えます。これまで経験したことのない少子高齢化は急速に、音もなくサイレント映像の津波の如く押し寄せ、年金、医療や介護など社会福祉関連課題は山積、そして、人口減少による今後の国力へ影響問題など、将来展望も開けぬ中で、東日本大震災後の復興の歩みは遅々として進まず、放射線被曝や汚染物質の処理問題など不安感が蔓延しています。

一方、資源・エネルギー問題、環境汚染、さらに、実体経済とは乖離した人災とも言える金融不安は毎年のように起こり、それに起因する雇用不安や就労環境の悪化など、私たち庶民生活にも深刻な影響を与えています。責任ある世代の一員として内心忸怩たる思いもありますが、次代を担う子どもたちに、回復困難な負担や禍根を残さぬよう早急な国家的取り組みが喫緊の課題のように思われます。

さて、母校にとっては、戦後の教育制度改革以来の教育改革となる併設型中高一貫校が、平成26年度中南信地区のモデルケースとして開校いたします。同窓会としても、これまでの取り組みが実り、漸く緒についた訳ですが、入学してくる附属中学生がより良い学習環境の中で学ぶことができるよう引き続き支援して参りたいと存じます。

そこで、新校舎が狭隘な校地の有効利用や太陽光など自然エネルギーの活用と省エネルギー等、時代の趣向や教育のあり方にも配慮したものとなるよう、過日、阿部知事と山口教育長、矢崎教育委員長に要望書を提出し懇談して参りました。県財政との関係もありますが、母校が定める教育課程に則して画竜点睛を欠くことのないよう支援したいと存じます。

次に財団法人諏訪清陵会であります。新しい公益法人制度に移行することを踏まえ、これまでどおり後輩諸君の学習活動を支援できるよう非営利型の一般財団法人化することを決め、4月から新たな形でスタートいたします。

現在、財団には同窓会本会とは別におよそ5000万円の基金がありますが、新設附属中学校の学習環境の整備に向けて、一定の範囲内で充当して参りたいと考えております。

また、平成27年度には、早いもので母校創立120周年を迎えます。その記念事業の一環として同窓会員名簿を発行することを昨年の定期総会において決定いたしました。逐次お知らせいたしますが、原稿のご提出や名簿のご購入について、ご協力頂ければと存じます。

なお、平成9年度に発足したクラブ活動後援会ですが、本年度から新たに第4期目に入ります。1期5年でお一人1万円ですが、何卒ご協力くださるようお願いいたします。

会員各位のご厚情をお願い申し上げますとともに皆々様の益々のご健勝とご多幸を心よりご祈念いたしております。



伝えて行きたいもの

学校長
佐藤 尚登

この小文を書いている4月26日現在、清陵高校の桜は満開です。グラウンドの「千萬人詩碑」も花の陰に隠れ、通路からは少し見えにくいような状況です。昨年の春、時期は今年より早かったように思いますが、同じように咲き誇る桜を見て、「今年ばかりは墨染めに咲け」という古今集の和歌の一部が頭に浮かんできたことを思い出します。東日本大震災のことを忘れたわけではありませんが、桜はやはり桜色に咲くのが一番です。

同窓生の皆様におかれましては、日頃から母校の教育振興のために物心両面にわたって温かいご支援を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。また特に昨年1年間は、本校への附属中学校開設に向けて言葉には尽くせぬほどのご支援、ご協力を賜りました。重ねて心より感謝申し上げる次第です。これらのことに加え、いくつもの支部総会に出席させていただくなかで、私は同窓生の皆様の母校に寄せる思いの強さを改めて強く印象づけられました。総会のご挨拶でも申し上げましたが、その思いの由って来るところは、皆様の清水ヶ丘での生活がよきものであったこと、現在清水ヶ丘で学ぶ後輩たちに親近感をもっていただいていること、の2点が大さいのではないのでしょうか。

そのようなことを考えながら、時ならぬ春の嵐が列島を襲った日の翌日4月4日、242名の新生を迎えての入学式で、私は新生諸君に次のように訴えました。

「ある生化学者の実験によると、60兆の細胞からなるヒトは分子レベルでみれば常に入れ替わっていて、半年前の皆さんと今日の皆さんは全く別のものだそうですが、私たちは自分の人格は不変であると確信しています。学校を人になぞらえれば、細胞にあたるのは生徒諸君ですから、清陵高校とは皆さん自身のことです。そして生徒は入れ替わっていても変化しないもの、すなわち人における人格にあたる清陵高校の本質は、生徒諸君が自分の頭で考えて行動することを大事にするということです」

同窓生の皆さんの思い出話をお聞きすると、何人もの方が入学直後の最も鮮烈な印象として、誰でも自らの思うところを正々堂々と口にするのできる自由な雰囲気や清陵にあったことを挙げられます。この自らの思いを正々堂々と口にすることを大事にするという理念が、脈々と受け継がれていることを再確認する場面が先ごろありました。

4月14日にSSH事業の一環で、東京工業大学フェローの数学者・桜井進先生の講演を全校でお聞きしたのですが、講演終了後、場所を移して講師を囲む会がもたれました。会場には50名近い生徒諸君が集まり、次々と講師の先生への質問の手が挙がり続け、当初30分の予定だったものが時間を大幅に超過して、結局1時間40分の質問タイムとなりました。この闊達な積極性は今、多くの高校ではなかなか表に現れないのが現実ですが、幸い本校では、誰でもが自分の考えや思

いを堂々と口にできるという校風が色濃く残っています。

時代は、自分の頭で考え、人々にそれを説き、協同して事に当たれる人材を求めています。同窓生の皆様によって100年以上にわたって受け継がれてきたよき伝統を、今清水ヶ丘に学ぶ若者たちを経て、さらに次の時代に伝えていくことが

重要です。清陵高校がそのような良質な学びの場であり続けるために、非力ではありますが励んでまいりたいと存じます。なにとぞ引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶いたします。

学校だより

平成23年4月5日、新生241名(男子140名、女子101名)を迎え、全校生徒726名(男子427名、女子299名)、教職員64名で平成23年度がスタートしました。この1年、生徒たちは勉強にクラブに精一杯取り組み、それぞれの成長を果たしました。そんな生徒たちの活躍を中心に、この1年間の学校の様子をお届けします。

運動系クラブ

野球部は、春季北信越大会長野県大会に進出しました。春の高校総体では、陸上、剣道、男子バスケ、女子バスケ、ソフトテニス、男子バレー、サッカー、ハンドボール、水泳の各部が県大会に進出し、特に剣道とハンドボールは南信優勝に輝きました。県大会では陸上部の山田結花さん(2年)が400Mで6位、水泳部の松澤光希君(1年)が50M自由形で7位、100M自由形で6位となり、北信越大会に出場しました。

端艇部は、シングルスカルにおいて笠原美瞳さん(3年)が1位、花岡諒一郎君(2年)が2位、須田元輝君(3年)が3位で、ダブルスカルにおいて駒形有生君(3年)、土田燎野君(3年)が1位、今井綾乃さん(2年)、唐澤玲子さん(2年)が2位で、クオドルプルにおいて山崎亮君(3年)、伊藤健太君(3年)、後藤貴央君(3年)、河西裕紀君(3年)、酒井康佑君(3年)のクオドルプルが1位、高原美汐さん(3年)、有賀麻衣さん(3年)、藤森まいこさん(3年)、關萌季さん(3年)、大槻菜奈さん(3年)のクオドルプルが1位となり、北信越大会に出場しました。

北信越大会(石川県津幡町)においては、男子シングルスカル(花岡)がB決勝1位、男子シングルスカル(須田)がB決勝6位、女子シングルスカル(笠原)がA決勝2位、男子ダブルスカル(駒形、土田)がA決勝3位、女子ダブルスカル(今井、唐澤)がA決勝3位、男子クオドルプル(山崎、伊藤、後藤、河西、酒井)がA決勝4位、女子クオドルプル(高原、有賀、藤森、關、大槻)がA決勝2位となり、その結果、男子総合2位、女子総合2位に輝きました。

インターハイ(岩手県花巻市)においては、女子シングルスカル(笠原)が準々決勝4位、男子ダブルスカル(駒形、土田)が準々決勝3位、男子クオドルプル(山崎、伊藤、後藤、河西、酒井)が準決勝6位でベスト12、女子クオドルプル(高原、有賀、藤森、關、大槻)が準決勝6位でベスト12でした。端艇部は国民体育大会(山口県下関市)においても、男子シングルスカル(花岡)が準決勝B組で4位、女子クオドルプル(高原、關、藤森、大槻)が準決勝D組で4位となりました。

秋の新人大会では、陸上、剣道、男子バスケ、女子バスケ、ソフトテニス、ハンドボールが県大会に進出し、特にハンド

ボールは南信優勝に輝きました。県大会では、陸上の倉橋由宇さん(1年)が棒高跳びで4位となり、北信越大会に出場しました。

また選抜大会では、男子バスケ、ソフトテニスが県大会に進出しました。

端艇部は、男子シングルスカルにおいて花岡諒一郎君(2年)が1位、宮下優矢君(1年)が2位、男子ダブルスカルでは小松拓磨君(1年)、山本秋汰君(1年)が2位、男子クオドルプルでは柄沢健史君(2年)、原昂秀君(2年)、両角仁矢君(1年)、吉原創太郎君(2年)、中野洋君(1年)が2位、女子クオドルプルでは関杏利紗さん(2年)、加藤ゆき乃さん(2年)、今井綾乃さん(2年)、鈴木瑞葉さん(2年)、唐澤玲子さん(2年)が2位で、中部高等学校選抜競漕大会に出場しました。

中部高等学校選抜競漕大会では、男子クオドルプル(柄沢、原、両角、吉原、中野)が敗復4位、女子クオドルプル(関、加藤、小林、鈴木、鴨居)が準決勝B組6位、男子ダブルスカル(小松、山本)が敗復5位、男子シングルスカル(宮下)が準決勝A組5位、男子シングルスカル(花岡)が決勝5位となりました。男子シングルスカル花岡諒一郎君は3月に行われた全国選抜大会(浜松市)に出場し、18位となりました。

また、全日本ジュニアボート選手権(熊本県班蛇口湖)に男子シングルスカルで後藤貴央君(3年)、河西裕紀君(3年)、藤森まいこさん(3年)が出場しました。

文化系クラブ

美術部は、全国レベルの2つのコンクールで受賞者が出ました。デッサン甲子園(学校法人服部学園主催)では、個人戦で漆原さくらさん(3年)が大賞を受賞、団体戦でも漆原さくらさん(3年)、村上由美さん(3年)、北村佳菜さん(3年)が準大賞を受賞しました。また、高校生・中学生クリエイターコンテスト(学校法人電波学園主催)では、応募総数824点の中から、小口歩美さん(2年)が優秀賞他3賞を受賞。漆原さくらさん(3年)が昨年のグランプリに引き続き創立60周年記念賞を受賞。今井和歌奈さん(2年)が佳作賞を受賞しました。

古典ギター部は、第41回全国高校ギター・マンドリンフェスティバル(大阪府)に出場し、スペイン大使賞、3年連続優秀賞、10年連続出場賞となりました。また、今までの実績が評価され、11月に長野県高等学校文化連盟より表彰されました。

書道部は信州書道展(長野日報社主催)において4年連続「最優秀校」受賞。個人賞でも小林美早紀さん(2年)の全日本書道連盟賞をはじめ上位賞に多数名を連ね、新聞に大

きく掲載されました。県展では神林沙妃さん（2年）が特選となり、こちらも4年連続の最高賞輩出となりました。そして、県高校書道展において本校書道部出品作群が高く評価され、来年度「全国総文祭」（富山県）への出品権を獲得、本校7年ぶりの快挙となり、部長の小林さんが代表出品することとなりました。

化学部は、諏訪市からの求めに応じ、工学院大学サイエンスフェスタ in 諏訪に参加、「元・銅メダルが銀や金のメダルに?！」と題して、亜鉛と黄銅メッキの演示を行いました。

将棋部は県高等学校将棋選手権で守住遼君（2年）が準優勝し、全国大会（京都）に出場しました。

かるた部は、第33回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会（滋賀県）に出場し、団体戦 予選トーナメント2位 ベスト16に入りました。また、第35回全国高等学校総合文化祭（福島県）では、長野県選抜チームに清陵より3名が選抜され、団体戦でベスト16に入りました。

イングリッシュ部は英語ディベート県大会準々決勝で優勝校伊那北と当たり惜敗、3年連続全国大会出場はなりません。県大会個人賞（上位10名）では、小口梨菜さん（2年）が4位、松崎萌子さん（2年）が7位、坂口佳帆さん（1年）が10位となり入賞を果たしました。また、今までの実績が評価され昨年11月、長野県高等学校文化連盟より表彰されました。

学友会行事



4月の対面式、新入生歓迎会、春のクラスマッチに始まった生徒会行事は、清陵祭で最高潮に達し、その後2年生へと引き継がれ、伝統の端艇大会、湖周マラソンを行いました。

清陵祭ファイヤーストーム 第61回清陵祭は、7月1日から4日間行われました。テーマは「殊誇」で、物事の程度が同種の物とかけ離れていてこれを誇りとするとの思いを込めたそうです。

1日目（前夜祭）は、仮装行列登校に始まり、仮装コンテスト、談話会、美人（女装）コンテスト、地方会劇と盛りだくさんの行事が行われました。

2日目の午前中には、開催式、文化講演会が行われました。文化講演会は、戦場カメラマン・石川文洋氏を講師に戦場の写真のスライドを交えながらご講演いただきました。

2日目午後から3日目にかけては一般公開され、教室やステージを使ったクラブやSSH講座の口頭発表・ポスター展示や演奏会、コモンスペースを中心とした娯楽企画や喫茶、恒例のバスケット部のOB戦などが行われました。近年娯乐的な要素の多くなってしまった談話会を変えるべく、昨年開催された真剣な討論の場としての談話会が今年も開催されました。また、例年と異なったのは、清陵祭に積極的に関わる生徒を増やしてもらうために、学友会執行委員が主となりお化け屋敷やコスプレ喫茶を新たに企画しました。どちらの企画も好評でしたが、娯乐的要素が増えすぎたという批判も多く、文化的な発表の場として清陵祭とはどうあるべきかについて考えていく契機となりました。

4日目（後夜祭）は、午前は合唱コンクールが、午後は運動会が行われました。運動会は、クラス対抗リレーで3年3部が1位、綱引きでは3年1部が1位、そして総合優勝は3年2部でした。3年生が受験勉強による日頃の運動不足を感じさせない圧倒的な力をみせました。合唱コンクールに懸ける3年生の意気込みは近年ますます高まり、いずれ劣らぬ熱唱の結果、クラス対抗の部では3年3部と3年6部が優勝を分け合いました。夕刻からは、ファイヤーストームの炎とともに青春の想いを燃え上がらせ、最後は泥まみれとなり幕を閉じました。

端艇大会は、9月5日、下諏訪漕艇場において開催されました。好天に恵まれ、男子は3年4部が、女子は3年3部が、混合は3年2部Aが優勝し、3年2部が総合優勝に輝きました。

第98回湖周マラソンは、10月20日、15人のOBランナーの皆さまも参加し、ともに健脚を競い合いました。うしまさ坂では、恒例のレモン配布を「うしまさ坂の碑保存会」の皆さまを中心に行っていただきました。秋晴れのもと、男子は宮坂進君（1年3部）が、女子は岩波宏佳さん（1年4部）が優勝に輝きました。

学校行事・授業など

学校では、春と秋、土曜日に授業公開を行っていますが、秋の授業公開（10月15日）にあわせてPTA講演会が行われました。同窓生の茅野實氏（52回）を講師にお招きし、「原点は諏訪清陵」と題してご講演いただきました。なお、平成24年の授業公開は5月19日、10月20日です。興味のある方はぜひご参加下さい。

また、毎年分野別に多くの講師の方をお迎えして行われる進路講演会（1学年主催）では、同窓生である、原田昌彦氏（83回・東北大学大学院農学研究科・農学部准教授）にもご協力いただきました。

また、音楽の選択授業を通して参加した中山晋平記念音楽賞の作曲募集高等学校の部で、奥村大輔君（3年）が昨年の優秀賞に引き続き佳作となりました。

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

平成22年度より新たに5年間の指定をうけ、3期目の2年目となるSSHは新たな活動に取り組みました。

3期では、三澤勝衛先生の科学教育に光を当て、その原点に立ち返り、将来に向けて活かすことを目指していますが、その一環として三澤文庫と連携しながら「諏訪の風土を学ぶ連続講座」を立ち上げました。12月から2月にかけて、地域の皆様にも呼びかけ、霧ヶ峰、諏訪湖、地震と活断層をテーマに、地域で活躍されている講師の方をお招きしての講義とフィールドワークを行いました。特に田中俊廣さん（73回）による地震と活断層の回には時節柄、多くの方が参加されました。

また例年通りの活動も活発に行われました。主な活動は、SSH講座生徒（3年15名、2年22名）による課題探究とその成果の発表、大学・企業との連携講座（18回）、アラスカにおける海外科学セミナー、サイエンスフォーラムでした。全校生徒が参加し地域にも公開しているサイエンスフォーラムは、以下の3回を実施しました。

回・期日	講 師	演 題
第35回 (4月16日)	篠原菊紀（諏訪東京理科大学共通教育センター教授・81回）	お勉強の仕方&脳のだまし方
第36回 (7月9日)	遠藤守信（信州大学工学部電気電子工学科教授）	創造力を育む
第37回 (12月10日)	山田哲哉（宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所＝JAXA 準教授）	小惑星探査機「はやぶさ」の帰還 ～その超技術、カプセルの秘密～

活動のなかで特筆すべきは、8月に行われた「第1回信州サイエンステクノロジーコンテスト」で優勝し、「第1回科学の甲子園全国大会」（科学技術振興機構主催）の県代表となったことです。代表となった2年生6人のチーム（藤森雄也、二村成彦、中島徳雅、高橋亮太、三澤信之、石城陽太）は、3月24日、25日に兵庫県で行われた大会に参加し、結果は48チーム中21位でしたが、各県代表校の生徒との交流を通じて、大きな刺激を受けました。

1月29日、高木昭彦先生が急逝されました。高木先生は平成17年度より地歴公民科の非常勤講師としてお勤めいただいていたのですが、昭和50年度から平成3年度までの17年間には教諭としてご勤務いただいております。

高木先生の、膨大な読書量に裏打ちされた知性溢れる授業は、世代を超え多くの生徒たちから支持され、先生のお人柄を慕う生徒も多く、先生の影響で研究者や教育者の道へ進んだ教えるも少なくありません。

学校では、告別式当日、校内に祭壇を設け、生徒・職員がそれぞれの思いを込めてお別れをしました。また、社会科資料室の先生の机上には多くの生徒・職員・同窓生が花を手向け、研究室前に置かれたノートには、多くの生徒が高木先生への感謝の言葉を綴りました。

3月2日第64回卒業式が行われ、238名(男138名、女100名)が旅立ちました(115回生)。進学先は表のとおりです。また、3月25日の離任式では、13名の先生方をお見送りしました。（教頭・守屋郁男＝81回記）

平成23年度末 教職員人事異動

転・退職職員			新任職員		
氏 名	転出先等	教科	氏 名	前任校等	
石城 正志	高遠高・校長	教頭	守屋 郁男	高校教育課	
伊藤 清文	諏訪二葉高	国語	古屋 彰士	山梨県日川高	
両角 弥恵	長野西高		菊池 玲子	富士見高	
高山 功	伊那北高	社会	辻 清隆	総合教育センター	
横山 孝夫	長野工業高		広瀬 隆		
橋本 智	松本県ヶ丘高	数学	池川 慎吾	新規採用	
林 浩一郎	松本筑摩高		高橋 聡	松本深志高	
岩波 文人	下諏訪向陽高	理科	原 光秀	諏訪二葉高	
大久保純男	下諏訪向陽高		藤牧 淳	松本県ヶ丘高	
岡田 治美	諏訪実業高	英語	松下美智子	新規採用	
			天野ひとみ	諏訪二葉高	
			栗林ひろ子	富士見高	
			小林 義昌	下諏訪向陽高	
井口 元成	諏訪建設事務所	事務長補佐	原 健治	諏訪二葉高	
柳平 信夫	諏訪養護		篠原 尊	木曾看護専門	
林 茂利	下諏訪向陽高	事務	草間 祥明	岡谷南高	

平成23年度入試結果

卒業生数：238 就職者数：0 進学者数：160 進学率：67.2%			
国立大学	現役生	過卒生	合計
北海道	1	2	3
東北	2	1	3
秋田		2	2
茨城	2	1	3
筑波	2	1	3
千葉	1	2	3
電気通信		1	1
東京外国語		2	2
東京学芸	2		2
東京芸術		1	1
東京農工	1	1	
横浜国立	1	1	
新潟	1	1	
富山	1	1	
金沢	5	1	6
山梨	1	2	3
信州	23	6	29
静岡	4	3	7
愛知教育	1	1	
名古屋	1	1	
名古屋工業	1	1	2
京都		1	1
大阪	1	1	
奈良女子	1	1	
広島	1	1	
宮崎	1	1	
国立大学合計	52	29	81
私立大学	現役生	過卒生	合計
青森公立		1	1
青森県立保健	1	1	
茨城県立医療	1	1	
高崎経済	3	3	
国際教養		1	1
首都大学東京	4	1	5
横浜国立	1	1	
新潟県立	1	1	
都留文科	1	1	
長野県看護	2	1	3
静岡県立	1	1	2
名古屋市長	2	2	
大阪府立		1	1
公立大学合計	17	6	23
私立大学	現役生	過卒生	合計
酪農学園	2	2	
東北芸術工科	1	1	
つくば国際	1	1	
白鷲		1	1
国際医療福祉	2	1	3
獨協	2	2	
日本工業	1	1	
文教	2	6	8
千葉工業	3	3	
東京医療保健		1	1
青山学院	8	3	11
大妻女子	5	5	
学習院	1	1	2
北里	8	3	11
共立女子	1	1	
杏林	3	3	
慶應義塾	2	2	4
工学院	1	2	3
國學院	2	3	5
国士館	2	2	
駒澤	5	5	
芝浦工業	2	12	14
上智	5	2	7
昭和	1	1	
女子栄養	1	1	
成蹊	5	1	6
成城	1	1	2
専修	7	1	8
創価	1	1	
大東文化		1	1

国立大学	現役生	過卒生	合計
拓殖	2		2
中央	19	5	24
津田塾	1	1	2
帝京	1		1
東京医科	1		1
東京家政	3		3
東京工科	1	1	2
東京女子	2		2
東京造形	2		2
東京電機		3	3
東京薬科	2		2
東京理科	6	19	25
東邦	4		4
東洋	8		8
二松學舎		1	1
日本	11	11	22
日本女子	3	1	4
日本体育		1	1
法政	26	5	31
武蔵工業		1	1
武蔵野美術	1		1
武蔵野	1		1
明治	11	3	14
明治学院	7	3	10
明星		4	4
立教	7	2	9
立正	3		3
和光		1	1
早稲田	10	4	14
東京未来	1		1
神奈川工科		1	1
神奈川	4	3	7
フェリス女学院	1		1
新潟医療福祉	1		1
金沢医科		1	1
金沢工業		1	1
山梨学院	1		1
松本歯科	1		1
岐阜聖徳学園		1	1
岐阜医療科学	2		2
常葉学園		3	3
愛知工業	2		2
愛知淑徳	1	1	2
金城学院	1		1
中京	1	1	
中部	1		1
名古屋外国語	3		3
藤田保健衛生		1	1
南山	1		1
日本福祉	1		1
名城	2		2
愛知工科		1	1
京都産業	2		2
同志社	7	3	10
同志社女子	1		1
立命館	22	11	33
龍谷	3		3
関西	6	1	7
近畿	1	1	2
関西学院	3	2	5
私立大学合計	276	138	414

国立短大	現役生	過卒生	合計
長野県短大	1	2	3
静岡県短大		1	1
国立短大合計	1	3	4

専門各種学校	現役生	過卒生	合計
諏訪赤十字看護	1		1
岩崎学園	1		1
大原簿記	1		1
神田外語学院	1		1
東京ベルエポック製菓	1		1
専門各種学校合計	5		5

平成 23 年度 諏訪清陵高校同窓会 会務報告

4. 5 諏訪清陵高校第 117 回生入学式
○新入生 241 名（内女子 101 名）松下会長祝辞
○新入生に「校歌」CD・ビデオ「清水ヶ丘にうたう」を贈る
- 4.18 同窓会報に関して打合せ会（13：30／清陵会館）78 回生・事務局
- 4.22 母校への着任教職員歓迎会（18：00／ぬのはん）松下会長・今井副会長・事務局長出席
5. 9 （財）諏訪清陵会会計監査・同窓会会計監査（13：00／清陵会館）河西節郎監事・鮎沢茂登監事・松下会長・今井副会長・石田清陵会書記・事務局長
- 5.23 本会「定期総会」に関して打合せ会（16：00／清陵会館）78 回生・事務局
- 5.27 『清陵同窓会報』（第 37 号）完成・発送 16,800 通（クロネコヤマト便にて）
（財）諏訪清陵会の事業・予算に関して打合せ会（13：30／清陵会館）石城教頭・今井副会長・石田清陵会書記・事務局長
- 5.28 （財）諏訪清陵会理事会・評議員会（11：30／母校会議室）
○平成 22 年度事業報告・収支決算の承認、一般財団法人移行認可申請書の承認
同窓会常任幹事会（13：30／清陵会館）
○幹事会提出議案審議
同窓会幹事会（15：30／清陵会館）
○平成 22 年度事業・各種会計決算承認、平成 23 年度事業案・予算案承認、母校創立 120 周年記念事業の件、母校の中高一貫校への今後の件、（財）諏訪清陵会に関して、その他
懇親会（17：30／清陵会館）
- 5.29 上伊那支部総会（15：30／辰野パークホテル）松下会長・佐藤学校長出席
6. 6 定期総会に関して打合せ会（14：00／清陵会館）78 回生・事務局長
6. 6 母校中高一貫校に向け中学校校舎の建設に関して打合せ会（16：00／清陵会館）松下会長、他
- 6.24 定期総会準備会（18：30／清陵会館・ホテル紅や）78 回生・今井副会長・事務局長
- 6.25 平成 23 年度諏訪清陵高校同窓会定期総会（13：30／ホテル紅や）
○平成 22 年度会務・会計（一般会計・会報特別会計・会館維持特別会計・クラブ同窓会後援会特別会計）報告、監査報告、平成 23 年度事業計画・予算などの承認、母校創立 120 周年記念事業（『会員名簿』の作成）に関して、母校中高一貫校の今後に関して、（財）諏訪清陵会に関して（報告）、その他〔議長：高木鐵也下諏訪支部長〕
談論会：≪「諏訪力」世界を変える僕等の原点～縄文から清陵教育まで～≫
懇親会（17：20／ホテル紅や）
〔当番幹事 78 回生、次期当番幹事 79 回生、サブ幹事 88 回・98 回生〕
- 6.27 母校中高一貫校に向け中学校校舎の建設に関して打合せ会（16：00／清陵会館）松下会長、他
- 7.15 母校中高一貫校に向けて中学校校舎の建設などに関して、長野県知事・教育委員会へ要望書の提出（長野県庁）松下会長・山崎財団理科教育振興基金理事長・今井副会長
- 9.22 当番幹事学年引継ぎ会（78 回生から 79 回生へ）（18：30／夢蘭）松下会長・事務局（小口修平）
- 10.14 東京清陵会（東京支部）総会（18：00／アルカディア市ヶ谷）松下会長・佐藤学校長出席
- 10.20 母校「湖周マラソン」OB12 名参加、慰労懇親会（片倉館）今井副会長出席
- 10.29 物故会員ならびに道志杜先輩慰霊法要（11：00／地藏寺）松下会長、他
- 10.29 常任幹事会（臨時）（14：00／地藏寺）
○『会員名簿』発刊に関して、他
- 10.29 第 78 回生主催『同窓会報』テーマ『諏訪力』シンポジウ

- ム（14：00／母校）
- 11.18 諏訪支部総会（18：00／諏訪シティホテル成田屋）松下会長・佐藤学校長・石城教頭出席
12. 2 『会員名簿』に関して打合せ会（14：00／清陵会館）松下会長、他
- 1.13 （財）諏訪清陵会に関して打合せ会（13：30／清陵会館）今井常務理事（副会長）、他
- 1.23 『会員名簿』に関して打合せ会（15：00／清陵会館）松下会長・古原名簿委員長、他
2. 4 茅野支部総会（15：30／マリオロイヤル会館）松下会長・佐藤学校長出席
○上條雄支部長が退任し、金井修（63 回）就任
- 2.13 『会員名簿』に関して打合せ会（13：00／清陵会館）古原委員長、他
- 2.16 岡谷支部総会（18：00／ホテル岡谷）松下会長・佐藤学校長出席
- 2.17 北信支部総会（18：00／ホテル国際 21）松下会長・石城教頭出席
- 2.20 （財）諏訪清陵会に関して打合せ会（2.25 に向けて）（15：00／清陵会館）松下会長（理事長）・石城教頭（財団事務局長）、他
- 2.20 同窓会役員会に向けて打合せ会（16：00）松下会長、他
- 2.20 母校中高一貫校に向けて中学校校舎設計に関わる打合せ会（17：00／母校）松下会長・佐藤学校長、他
- 2.25 （財）諏訪清陵会理事会・評議員会（11：30／母校会議室）
○平成 24 年度事業計画、収支予算の承認、一般財団法人への移行について
同窓会常任幹事会（13：30／清陵会館）
○幹事会への提出議案審議
同窓会幹事会（15：30／清陵会館）
○本会役員改選に関して、母校創立 120 周年記念事業に関して、中高一貫校に関する件、平成 24 年度定期総会・会報に関して、（財）諏訪清陵会に関して、その他
懇親会（17：30／清陵会館）
- 2.26 富士見支部総会（15：00／富士見・大奥）松下会長・佐藤学校長出席
3. 2 定期総会の「講演会」に関して打合せ会（14：00／清陵会館）石城教頭・79 回生・事務局
3. 3 母校第 115 回生卒業式
○卒業生 238 名（内女子 100 名）松下会長祝辞
○同窓会から会長のメッセージを添えて卒業記念として「印鑑セット」を贈呈
3. 9 『会員名簿』に関して打合せ会（13：00／清陵会館）古原委員長、他
- 3.11 関西支部総会（11：00／大阪第一ホテル）松下会長・佐藤学校長出席
- 3.15 下諏訪支部総会（18：00／ぎん月）松下会長・佐藤学校長出席
○高木鐵也支部長（63 回）が退任し、小松新平（64 回）就任
- 3.17 松本支部総会（16：00／ホテルモンターニュ松本）松下会長・佐倉教頭出席
- 3.21 （財）諏訪清陵会「一般財団法人」移行認可（県知事）
- 3.23 母校転退職職員送別会（18：00／浜の湯）松下会長・今井副会長・事務局長出席
○同窓会より饗別（石城教頭ほか 12 名へ）
- 3.24 東海支部総会（11：00／名古屋キャッスルプラザ）松下会長・佐藤学校長出席
○小松久夫支部長（59 回）が退任し、太田龍朗（61 回）就任
- 他・「三澤先生記念文庫」の整備作業を年間を通じて随時実施
・「三澤文庫連続講座」の開講（三澤勝衛先生記念文庫運営委員会による）（清陵会館）

平成 23 年度 同窓会一般会計決算報告

収入総額	8,951,470 円
支出総額	8,188,830 円
差引残高	762,640 円（平成 24 年度へ繰越）

収入の部（単位：円）				
科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
前年度繰越金	23,521	23,521	0	
入 会 金	1,205,000	1,195,000	－ 10,000	5,000 円× 239 名
終 身 会 費	4,820,000	4,780,000	－ 40,000	20,000 円× 239 名
基本財産収入	100,000	30,804	－ 69,196	定期利息
繰 入 金	2,300,000	2,300,000	0	基金（定期）より
雑 収 入	30,000	622,145	592,145	利息、寄附金、遺志金、名簿売上金、他
合 計	8,478,521	8,951,470	472,949	

支出の部（単位：円）				
科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
会 議 費	200,000	220,588	20,588	役員会、慰霊法要等
総 会 費	350,000	325,400	－ 24,600	運営費、資料作成費、広告代、他
旅 費	550,000	433,870	－ 116,130	役員会、役員出張旅費等
人 件 費	480,000	480,000	0	給与（事務局長）
需 要 費	100,000	86,337	－ 13,663	新聞代、事務用品等
役 務 費	280,000	284,929	4,929	電話料、郵送料、LCV－NET 利用料、他
慶 弔 費	850,000	840,821	－ 9,179	支部総会祝儀、饗別、弔電、広告代、他
記 念 品 費	170,000	166,600	－ 3,400	卒業生への記念品代
繰 出 金	2,250,000	2,250,000	0	会報（170 万円）、清陵会（50 万円）、会館維持（5 万円）
基金繰出金	0	0	0	
備 品 費	0	0	0	
雑 費	0	0	0	
予 備 費	3,248,521	3,100,285	－ 148,236	自反会、SSH、他
合 計	8,478,521	8,188,830	－ 289,691	

諏訪清陵同窓会「基本財産」目録	
基本財	48,700,000 円
（内訳）定期預金	諏訪信用金庫 41,000,000 円
八十二銀行	7,700,000 円

平成 23 年度「清陵会館」維持会計決算報告

（平成 23 年 4 月 1 日から 24 年 3 月 31 日）

収 入 額	1,118,017 円	（繰越金、繰入金、利息）
支 出 額	0 円	
差引残額	1,118,017 円	（平成 24 年度へ繰越）

諏訪清陵高校 OB・OG

「諏訪湖一周マラソン」のご案内

本年も恒例の諏訪湖マラソン OB・OG 大会を下記により、母校の伝統行事に加えてもらい実施致します。多数の皆さんの参加と応援を期待しご案内とします。

1. 日 時 10 月 25 日（木） 女子 8 時 40 分、男子 9 時スタート

2. コース スタート・ゴール 湖畔石彫公園 約 19.4km

3. 受 付 湖畔石彫公園のスタート地点 午前 8 時よりゼッケン受取後スタート地点へ。終了後懇親会（片倉館）。

4. 参加費 マラソンのみ 2,000 円 懇親会まで 3,000 円

5. その他 健康診断もお忘れなく。雨天の場合は受付時に判断。

清陵湖周マラソン OB 会

会 長 牛山 孝（59 回） 会 計 唐沢千明（76 回）

問合先 原 英充（65 回）電話 0266-58-3547

平成 24 年度 同窓会一般会計予算書（案）

収入総額	9,147,640 円
支出総額	9,147,640 円
差引残高	0 円

収入の部（単位：円）				
科 目	予算額	前年度予算額	増減額	備 考
前年度繰越金	762,640	23,521	739,119	
入 会 金	1,205,000	1,205,000	0	5,000 円× 241 名
終 身 会 費	4,820,000	4,820,000	0	20,000 円× 241 名
基本財産収入	30,000	100,000	－ 70,000	基金（定期）利息
繰 入 金	2,300,000	2,300,000	0	基金（定期）より
雑 収 入	30,000	30,000	0	利息、CD・100 年史売上金、他
合 計	9,147,640	8,478,521	669,119	

支出の部（単位：円）				
科 目	予算額	前年度予算額	増減額	備 考
会 議 費	200,000	200,000	0	役員会、慰霊法要等
総 会 費	350,000	350,000	0	運営費、資料印刷費、広告代、他
旅 費	500,000	550,000	－ 50,000	役員会、役員出張旅費等
人 件 費	480,000	480,000	0	給与（事務局長）
需 要 費	100,000	100,000	0	新聞代、事務用品等
役 務 費	290,000	280,000	10,000	電話料、郵送料、LCV－NET 接続・利用料、他
慶 弔 費	850,000	850,000	0	支部総会祝儀、饗別、弔電、広告代、他
記 念 品 費	170,000	170,000	0	卒業生への記念品代
繰 出 金	4,950,000	2,250,000	2,700,000	会報（180 万円）、清陵会（50 万円）、会館維持（5 万円）、自反会（230 万）、SSH（30 万）
備 品 費	0	0	0	
基金繰出金	0	0	0	
雑 費	0	0	0	
予 備 費	1,257,640	3,248,521	－ 1,990,881	
合 計	9,147,640	8,478,521	669,119	

平成 23 年度「同窓会報」特別会計決算報告

（平成 23 年 4 月 1 日から 24 年 3 月 31 日）

収 入 額	2,670,797 円	（繰越金、一般会計より繰入金、広告収入等）
支 出 額	2,300,121 円	（会報 37 号編集・印刷費、発送料等）
差引残額	370,676 円	（平成 24 年へ繰越）

やとしてぬくもりのおもてなし

政府登録国際観光旅館

湖の湯

代表取締役社長 山 崎 壯 一（51 回）

取締役社長室長 山 崎 滯 子（56 回）

〒392-0027 諏訪市湖岸通り 3－3－10 TEL0266（58）8000

平成23年度 定期総会の記

実行委員会

平成22年8月、私たち78回生は平成23年度同窓会総会に向け動き始めました。まず、連絡先が分かるすべての同期生に協力を呼びかけ、同時に78回生HPも立ち上げ、進捗状況を誰でも見られるようにしました。

平成22年9月3日、足立孝幸実行委員長のもと、第1回の実行委員会を開催しました。参加した同期生は誰でも実行委員とすることとし準備をスタートさせました。その後8回の会合を重ねましたが、引継会や幹事会への出席、人集めを兼ねたクラスごとの同級会などを合わせると、78回生は、ほぼ毎月、集まっては議論し、飲んでいたことになります。このつながりは様々な形で今も続いており、実行委員会に参加した同期生それぞれにとっての大きな財産となりました。

企画

実行委員会で最も労力を使ったのは、会報と総会当日の講演会のコンセプトをどうするかということでした。当初より、会報の特集と総会当日の講演会をリンクさせる方向で議論を重ねましたが、議論百出のなか、フリープランナーの石埜穂高が、出されていたすべての案（縄文、御柱、ものづくり、三澤勝衛、霧の子孫たち、中高一貫教育など）を引き受け、「諏訪力」という縦糸でつなぐというアイデアを出し、一気にまとまりました。

その後、石埜総合プロデューサーを中心に議論を重ね、「『諏訪力』世界を変えるほくらの原点～縄文から清陵教育まで～」と銘打って、会報の特集は、小林公明（縄文）、北村皆雄（御柱）、山崎俊一（ものづくり）、石城正志（三澤勝衛）の4氏への石埜によるインタビューとし、総会当日は、高見俊樹による「縄文文化と柱建祭」、石埜による「諏訪力」のプレゼンテーションから、「諏訪力」の提案をきっかけとして同窓生の皆さんに大いに議論をしていただく「大人の談話会」の2部構成によるシンポジウムと決まりました。

会報については、幹事会において、「近年にない出来栄え」との評価をいただくことができました。

当日

当日は、総会13:30～3:00、シンポジウム3:00～4:45、懇親会5:00～7:30の予定で実施されました。多くの方に参加していただくためチケット販売を復活させたり、大いに語っていただくため懇親会での音曲をなくすなど、当日の運営についても知恵をしまりました。

プレゼンのあとの「大人の談話会」は、ほとんどが中高一貫教育の話題で占められましたが大いに盛り上がりました。その勢いのまま雪崩れ込んだ懇親会でも、それぞれのテーブルで話題に花が咲き、皆さん大いに気炎を上げました。シンポジウムの様子は、78回生HP (<http://sites.google.com/site/seiry78>) に、「談話会記録」として映像と文字を交えて紹介されていますので、興味のある方はご覧ください。



懇親会終了後幹事学年で「民」。

東京支部

本会の熱気に負けじと東京支部の78回生も伊藤高光幹事代表を中心に奮起。会報では東日本大震災で被災しながら奮戦した渡辺律医師を特集し、支部総会にも諏訪からの参加の78回生を集め、総会を成功に導きました。

後日談

シンポジウムに触発された同窓生の方が、縄文遺跡をめぐった長大なレポートを寄せてくださり（78回HP「寄稿 2011年 縄文の旅」）、これがきっかけとなり、10月29日に「諏訪力第2弾」が開催され、今回は縄文の話で大いに盛り上がりました。

さらに、ここに参加された八十二文化財団の方から、「諏訪力」を本にまとめたいとの話をいただきました。78回生の「諏訪力」は、まだまだ終わりそうもありません。

この街と生きていく。

諏訪地域に本店のある地元の金融機関として、地域との共存共栄をめざす諏訪信金の決意です。

諏訪信用金庫

理事長 花岡 柊好 (68回)

〒394-8611 岡谷市郷田2丁目1番8号 TEL 0266-23-4567 <http://www.suwashinkin.co.jp>

清陵高校クラブ後援会 (3者) 会計報告 (PTA・同窓会・学友会)

平成23年度 クラブ後援会 (3者) 会計決算

収入総額	11,011,334 円
支出総額	10,363,798 円
差引残高	647,536 円

収入の部

科目	予算額	収入済額	比較増減
繰入金	8,500,000	8,500,000	0
県費等補助金	272,000	1,283,167	1,011,167
雑収入	121	288	167
繰越金	1,227,879	1,227,879	0
合計	10,000,000	11,011,334	1,011,334

支出の部

科目	予算額	支出済額	比較増減
生徒遠征費	6,850,000	6,531,823	- 318,177
大会参加費	1,400,000	2,028,750	628,750
登録料	1,050,000	1,009,200	- 40,800
施設使用料	650,000	788,990	138,990
事務費	20,000	5,035	- 14,965
予備費	30,000	0	- 30,000
積立金	0	0	0
合計	10,000,000	10,363,798	363,798

清陵高校クラブ活動同窓会後援会への入会のお願い

平成9年度の定期総会において「母校の全てのクラブ・同好会に関して、母校を代表して各種大会等へ出場する場合の生徒遠征費等を支援すること」を目的に標記の後援会が発足致しました（詳細は平成9年度発行の『会報』第23号参照）。

平成9年度からの5年間（第1次）に1,730名から協力（入会）を頂き、また、引き続き平成14年度からの5年間（第2次）でも1,701名の協力を頂いてまいりました。この結果、平成18年までの10年間で2,496万円を母校へ贈ることができました。継続して平成19年度から第3次・5年間に入っており、平成23年度までの5年間では、1,457万円を母校へ贈ってきております。ご協力ありがとうございました。

平成24年度から継続して第4次の5年間に入ります。毎年この『会報』発送の折に会費（5年分・10,000円）のご協力を頂きたく「振込取扱票（郵便振替用紙）」を同封しておりますが、残念ながら最近では入会者が減少の傾向にあります。因みに、19年度は356名、20年度は252名、21年度は246名、22年度は198名、23年度は187名でした。毎年300万円前後を母校へ贈っておりますが、単年度では不足する状況ともなりました。運動系クラブのみならず、近年は文化系（音楽・かるた・美術・SSH関係など）の全国レベルの大会などへの参加も目立ってきました。後輩のためにも学友会・PTA・同窓会の3者からなる「清陵高校クラブ後援会」に、是非ともご協力（入会）をお願い致します。

ご送金方法

◇同封の郵便振替用紙でお願いします。（手数料無料）
◇ご都合で5年分一括でない場合は金額を訂正してお振り込みください。（1年分でも結構です）

◇銀行振込の場合は下記口座へお願い致します。手数料はご負担頂ければ幸いです。

口座名 清陵クラブ活動同窓会後援会

八十二銀行諏訪支店 普通 689 - 629

諏訪信用金庫上諏訪支店 普通 1049944

銀行振込の場合は差出人の振り仮名欄に必ず回生をご記入ください。（例 77カイ セイリョウ タロウ）

平成23年度

諏訪清陵高校クラブ活動

同窓会後援会会計決算報告

（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

収入総額	4,547,659 円
支出総額	2,804,705 円
差引残高	1,742,954 円（平成24年度へ繰越）

収入の部（単位：円）

科目	収入済額	備考	科目	支出済額	備考
繰越金	2,705,861	前年度より	拠出金	2,750,000	学校後援会へ
会費	1,841,480	187名	需用費	5,4705	振替用紙印刷代
繰入金	0	定期預金取崩し			
雑収入	318	預金利息			
合計	4,547,659		合計	2,804,705	

諏訪清陵高校クラブ活動

同窓会後援会基金

（平成24年3月31日現在・単位：円）

種類	預入先	金額	利率	期間	満期日
普通定期(単利)	諏訪信用金庫	3,000,000	0.030%	1年	H24.4.4
〃	〃	1,400,000	〃	〃	〃
合計		4,400,000			

地区支部だより

	関西支部	東海支部	東京支部（東京清陵会）	上伊那支部	松本支部
支部役員	支部長／上島武（57回） 副支部長／今井文人（52回）、小林悟郎（56回）、今井稔子（58回）、山田正幸（59回） 監事／松木本興（61回） 相談役／河西計介（42回） 事務局長／吉澤啓介（57回） 事務局連絡先／ 〒666-0129 川西市緑台7-3-15 吉澤方 TEL・FAX 072-793-8668 E-Mail：k.yoshizawa@gaia.eonet.ne.jp	支部長／太田龍朗（61回） 副支部長／下枝晴彦（61回）、佐々木忠男（59回） 事務局長／小林良章（75回） 事務局次長／濱隆二（73回）、矢澤弘司（81回） 幹事／浜一吉（65回）、今井安栄（67回）、保坂秀正（68回）、小口真紀雄（72回）、今井啓雄（89回） 会計監査／有賀章（59回） 顧問／錦見高広（42回）、竹村弘（44回）、岩田昌久（50回）、小松久夫（59回） 事務局連絡先／ 〒507-0826 多治見市脇乃島町4-31-15 小林方 TEL・FAX 0572-25-4473 E-Mail：kobayashi@ryu-9.com	会長／藤森宏一（63回） 副会長／平林千義（67回）、長田宏子（62回）、金子充宏（65回）、平林千春（69回） 会計幹事／有賀朝彦（63回） 監査幹事／今井恒夫（57回）小林國利（62回） 事務局次長／大島道雄（71回）、林健康（72回）、関屋孝行（76回） 事務局連絡先／ 〒113-0033 文京区本郷1-10-15 加奈利屋館7階 小林会計事務所内 TEL・FAX 03-3812-5887	支部長／荻野浩（57回） 副支部長／伊藤隆一（58回） 幹事／大森尚人（68回） 幹事／土屋隆（60回）、長谷川茂夫（60回）、林靖（62回）、勅使河原明英（66回）、加島範久（70回）、田中正幸（71回）、川島弘（73回）、小澤利長（78回）、福島正寿（80回）、橋本実樹（83回）、中村海基（92回） 会計監事／武居保男（80回） 事務局／赤羽博（78回） 連絡先／ 〒399-0426 辰野町宮本3795 荻野方 TEL・FAX 0266-41-1421 E-Mail：hy7ogino@pol16lcv.ne.jp (H24.3までの役員)	支部長／藤森弘（60回） 常任幹事／山田巻義（64回） 会計監査／赤羽英勝（60回） 事務局連絡先／ 〒390-0861 松本市 蟻ヶ崎3-7-20 藤森方 TEL・FAX 0263-32-7016 E-Mail：h131213f@coral.plala.or.jp
直近の支部総会	日時：24年3月11日 場所：大阪第一ホテル 参加者：49名 [サロンコンサート] ソプラノ独唱：宮西央子 ピアノ伴奏：佐藤明子 曲目：シューベルト「野ばら」、バッハ「アヴェ・マリア」他 [総会] ・予算・決算、活動計画等	日時：24年3月24日 場所：キャスルプラザ 参加者：20名 [講演] 小島一彦中日新聞編集委員（73回）「新聞を取り巻く情勢」 [総会・懇親会] ・予算・決算、活動計画等 ・役員改選 ・各会員の近況報告など	日時：23年10月14日 場所：アルカディア市ヶ谷 出席者：172名 [総会] ・予算・決算、活動計画等	日時：23年5月29日 場所：たつのパークホテル 出席者：35名 [講演] 森本健一豊南短期大学学長代行（70回）「写真が語る世界」	日時：24年3月17日 場所：ホテルモンターニュ松本 出席者：11名 [総会] ・予算・決算、活動計画等
前年度活動	・ゴルフコンペ開催（23年5月・10名参加、10月・6名参加） ・奈良磐余を歩く（23年5月・10名参加） ・葛城の高天原を尋ねる（23年11月・11名参加） ・会報20号・21号発行		・『東京清陵會だより』第22号の発行 ・東京同窓連、南信同窓連の会議及び催し物への参加 ・東京清陵会ゴルフ大会開催 ・南信同窓会ゴルフ大会への参加	・支部会員名簿整理	
今年度の計画	・総会（25年3月開催予定） ・ゴルフコンペ開催（2回） ・歩こう会開催 ・会報22号・23号発行	・総会（25年2月～3月） ・若手会員勧誘 ・支部だよりの発行	・『東京清陵會だより』の発行 ・支部総会の開催（10月第3金恒例） ・東京同窓連・南信同窓連会議およびゴルフ大会への参加	・支部会員名簿整理 ・支部総会	・支部総会（24年秋予定）

ものづくりをダイヤのように輝く技術でサポート

DAIYA 株式会社

ダイヤ精機製作所

相 談 役 小 口 成 人（44回生）
代表取締役社長 小 口 裕 司（79回生）

精密機械器具製造
高精度各種 コレットチャック 製造販売
ガイドブッシュ

本 社 岡谷市長地片間町1-4-20
電話岡谷代表 077733・FAX 0261188
営業所 東京都杉並区善福寺3-10-2

	北信支部	富士見支部	茅野支部	諏訪支部	下諏訪支部	岡谷支部
支部役員	支部長／高見澤忠明（61回） 副支部長／岩本弘（65回）、有賀良夫（68回）、花岡佳市（71回）、中村博（72回） 幹事／井上英（85回） 事務局連絡先／ 〒381-0043 長野市吉田4-10-32-911 井上方 TEL・FAX 026-259-6354 E-Mail：suguru-i@shinmai.co.jp	支部長／小林光（60回） 副支部長／水野俊彦（63回）、飯田幹夫（69回） 事務局／五味昭二（75回） 事務局／ 〒399-0211 富士見町 富士見 3697-1 小林方 TEL・FAX 0266-62-7815 E-Mail：pikkari@bb.wakwak.com	支部長／金井修（63回） 副支部長／北原正信（69回） 事務局長／樋口尚宏（77回） 事務局連絡先／ 〒391-0012 茅野市金沢2412-1 樋口方 TEL・FAX 0266-72-8302 E-Mail：nhiguchi@po26lcv.ne.jp	支部長／堀内昌翰（66回） 副支部長／伊藤八郎（68回） 事務局長／蒲地重明（66回） 事務局連絡先／ 〒392-0016 諏訪市豊田182-1 蒲地方 TEL 0266-58-2204 E-Mail：skamachi@sky.plala.or.jp 上記役員は24年11月16日まで。次期支部長は副支部長、事務局は9月3日選出予定。	支部長／小松新平（64回） 副支部長／中村國彦（65回）、小口俊吉（66回） 事務局／小松陸男（67回） 事務局連絡先／ 〒393-0023 下諏訪町 富ヶ丘 9513-7 小松方 TEL・FAX 0266-28-5898	支部長／花岡粧好（68回） 副支部長／佐原一誠（64回）、小口憲司（69回）、竹村文男（72回） 事務局／ 〒394-8611 岡谷市郷田2-1-8 諏訪信用金庫総務部内 TEL 0266-23-4567 FAX 0266-24-4055
直近の支部総会	日時：24年2月17日 会場：ホテル国際21 出席者：約60人 支部全体での活動は総会が唯一と言っていい。毎年2月に開催しているが、幹事の呼びかけや、新聞紙上への開催告知の成果もあって、ここ数年は若い層（30～40歳代）の参加が増える傾向にある。今後より多くの仲間が集い、語らいの場がもてるよう支部を挙げて努力していきたい。	日時：24年2月26日 場所：大奥 参加者：35名 [講演] 清水訓夫（69回・辰野町出身）「外交官時代の思い出」	日時：24年2月4日 場所：茅野市「マリオローヤル会館」 出席者：56名 [講演] 西山勝廣諏訪東京理科大学教授「材料・ITがもたらす経営革命―茅野市の水が持つポテンシャルを引き出し、健康・安全・産業に及ぶメカニズムを探る―」 [懇親会] 矢崎公二衆議院議員（81回生）挨拶。	日時：23年11月18日 場所：シティホテル成田屋 出席者：120名 [総会] 会務・会計・監査報告 [講演] 原昌弘諏訪大社禰宜「御杖柱へ受け継がれる自然信仰」	日時：24年3月15日 場所：ぎん月 出席者：42名 [総会] 事業報告及び役員改選	日時：24年2月16日 場所：ホテル岡谷 出席者：79名 [総会] 役員改選（正副支部長全員留任）
前年度活動		・3.11のため東京富士見会との交流を中止		・本部総会チケット分担販売	・納涼会開催（22年8月） 講師：武井勇二（59回） 演題：下諏訪と小澤征爾…サイトウキネン	
今年度の計画		・支部総会（例年通り） ・東京富士見会との交流	・支部総会開催	・本部総会チケット分担販売 ・支部総会（24年11月16日）	・納涼会（23年8月ころ） ・支部総会（24年3月ころ）	・支部総会（25年2月予定）

医療法人 順 恵 会

伊藤外科医院

院 長 伊藤隆一（第58回生）
医学博士

長野県上伊那郡辰野町大字伊那富7483
TEL 0266-41-3388

諏訪名産

初霜

不二屋代表取締役 新村良雄（四九回）
新村 隆（八五回）
下諏訪町四ツ角
TEL（〇二六六）二七七八五〇五
FAX（〇二六六）二八七〇九五

学年会短信

回生	呼称	活動内容
35	尚志会	昭和4年入学生たちで尚志会と名付けて地元も東京もよく連絡を取り合い、尚志文藻も作りました。東京支部では77歳くらいまで春・秋ゴルフコンペをして楽しんでいましたが、今ではほとんどの方が亡くなり、今残っている方は200人中10人おられるかどうか。(幹事山田六一妻代筆)
38		戦前・戦中・戦後、激動の時代を乗り切って、卒業以来75年、よくもまあと感慨ひとしお。このあたりで同期生の皆さんの現況をたずねてみようと呼年秋、調査をさせていただきました。平成23年9月現在、同期生220名、住所・生死不明の人19人、死亡の確認された人171人、調査をお願いした人30人、(内現況報告をいただけた人17人、報告のなかった人13人)。報告をくださった17人もほとんど医業に親しんでおられる様子でしたが、まだ人生を楽しんでおられる人も。どうかお体を愛しみ、さらなる長寿をお祈りいたします。(幹事／小林克己 TEL0266-64-2063)
40	述志会	私たちの同級生は卒寿を迎えました。戦前・戦中・戦後と激動のなかを過ごしてきました。戦争で多くの仲間が尊い命を失いました。24年3月10日の長野日報に芸術家松澤宥さんの記事が載っていました。松澤さんの作品は私にはほんとに分かりませんが、それが世界に認められ、ニューヨーク近代美術館に収蔵されていることに驚きを覚え、嬉しく思いました。立派な仲間の人々の諏訪中時代のことが懐かしく思い出されます。毎年1人2人と訃報に接しますが、まだまだ元気で活躍している人、多少は不自由でも頑張っている方々がいます。何か目標をもって頑張っていきたいと思います。(幹事加々見一郎記)
45		昨年の同窓会総会には小平恭君と関弥之助君と小松一弘が出席。懇親会では、出席者の中で最年長とのことで乾杯の音頭を依頼された。3人で壇上に並び自己紹介をして音頭をとった。NHK朝の連ドラ「おひさま」が放映されていたときでもあり、45回生のあの時代の陸士・海兵・予科練へのことも話した。今年は、諏訪湖で4季ぶりの御神渡りができた。2月4日の朝、諏訪市八剣神社の宮坂宮司は「鏡のように結氷し、小さいですが美しい御神渡りが発生した。立派な拝観式ができると思う」と、喜びを表現したという。拝観式は2月6日に行われた。湖上で下駄スケートで滑ったスケート大会のころが懐かしい。新年の長野日報のふるさとへの賀状の中に、今年も東京の岩波一寛君(中大名誉教授・財政学)の「ふるさとを想うたより」があった。あの清水ヶ丘の学園生活の思い出は尽きないが、亡き師や友の冥福を祈るとともに45回生の健勝を諏訪の地より祈っている。(幹事／小松一弘 TEL0266-52-6911)
48	白樺会	48回生の学年会「白樺会」は毎年東京で開催してきましたが、今年も3月23日、原宿で開催し、18名が参加しました。48回生は太平洋戦争の開戦の翌年、諏中入学生です。戦時の勤労働員など辛苦を嘗めた仲間ですので、例会に寄せる思いも奥深いものがあります。自身の体調や家族の介護などで参加者も年々減少していますが、趣味や健康管理に意欲的に過ごしているようです。来年も開催を予定していますので、ご参加を切望いたします。(幹事／河西孝夫 TEL0266-53-2248)
50	互励会	23年8月17日、諏訪市仙岳において互励会を開催。通知状の連絡、会場の選定について、平林茂幸君、村上賢次君に大変面倒をいただいた。28名の参加者。乾杯は今井隅田君が音頭。時間はゆっくり過ぎて1年ぶりの会食。話は尽きない。校歌斉唱は、武井秀夫君、竹村一司君、村上賢次君の先導で、第一、第二をしっかりと歌った。また、23年10月12日、東京一ツ橋如水館において東京互励会を開催。有賀英夫君はじめ、卒業時のクラスごとの幹事方のお世話で、信州や東京方面からも含め30名の多くの諸君が集まった。食事会場も皆が満足の大盛会。春の叙勲で瑞宝中綬章に輝いた伊藤順藏君の栄誉を祝福することにもなった。(幹事宮阪芳久記)
52・55	双樹会	戦後間もない学制変革期に旧制諏訪中学、新制諏訪清陵高校に入学した52回生・55回生は昭和27年に352名が卒業。半世紀余りを経過して物故者も100名に及び、250名の仲間は間もなく傘寿を迎えようとしている。「双樹会」と命名された同期会の仲間は集うことが好きで、諏訪と東京でさまざまな集いを続けている。双樹会の総会は諏訪の湖泉荘を定宿に、今年は約50名が集まった。今年4回目の講話会は「高野房太郎を追って30年―歴史探偵の捜査ノート」と題して二村一夫君に話をしてもらった。東京双樹会によるビールパーティーは新宿ハイアットリージェンシーで約40名が参加。諏訪からはマイクロバスで乗り込むのが恒例になった。月例会は諏訪が上諏訪駅近くの「いずみや」で、東京は八重洲口の小(次頁へ続く)

おかげさまで真澄は350年。

MASUMI

1662...2012

350

ANNIVERSARY

おかげさまで

350

真澄

ご先祖が酒造業を興したのが寛文二(1662)年。以来真澄は幾多の苦難を乗り越えて今年350年目の節目の年を迎えました。これだけの歳月を重ねることができましたのも、農家の皆様、資材業者の方々、ご販売店や料飲店の皆様、ご愛飲くださるお客様のご厚情の賜物と心より御礼申し上げます。

これからは真澄は酒造りに全身全霊を捧げます。どうか今までの350年に賜ったのと同じご支援をこれからの350年にもお与えください。

信州が生んだ天下の銘酒

真澄

MASUMI

七号酵母発祥の酒蔵

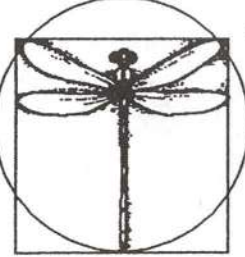
宮坂醸造株式会社

〒392-8686 長野県諏訪市元町1-16

TEL.0266-52-6161 FAX.0266-53-4477

www.masumi.co.jp

52・55	双樹会	林誠三君経営の扇寿司で、それぞれ10数名が集まる。毎月でありながら話題が尽きることなく盛り上がる。また、東京の高尾山麓の観桜会も恒例になっている。昨年11月、諏訪プラザの画廊で立川義明先生(諏訪中学時代の恩師・37回)の作品展(絵画)が開催されたのを機に、諏訪の有志10数名が集まり、先生を囲んで昼食会を行った。90歳を超えても元気一杯の先生と談笑の一時を過ごした。一昨年5回目を数えた双樹会美術展、5冊の作品集が完成し、更に昨年は作品集を収める手作りの洒落たケースができ上がった。これを記念に、諏訪市図書館と清陵高校同窓会へ作品集を寄贈した。来年は傘寿記念美術展を開催しようと準備中である。(幹事／千葉春男 TEL0266-58-6658)
60	陸和会	恒例の諏訪と東京での交互開催の学年総会も20年余り続く。今年は諏訪担当(於浜の湯ホテル予定)。3年後の「喜寿の祝い」を計画中。(幹事笠原文武記)
61		今年は、6月下旬に恒例のゴルフコンペ(諏訪地方ゴルフ場)、7月下旬に恒例納涼会(諏訪市内)、11月下旬に恒例忘年会(諏訪市内)の予定です。大勢のご参加をお待ちします。(幹事土橋勉記)
63	六三会	昨年開催した「古希を祝う会」で今後の開催についてお諮りいたしましたところ、「引き続き親睦の機会を多く持ちたい」との意見が多く寄せられました。幹事会で検討し、諏訪と東京で交互開催することにいたしましたのでお知らせいたします。従って本年の「六三会」は諏訪で開催することとし、10月5日(金)午後6時から並木通り「シティホテル成田屋」で懇親会を行うことにいたしました。追ってクラス幹事から連絡をとりますが、平成18年開催以降出席できなかった方で出席する予定の方は、それぞれのクラス幹事と連絡をとるようにお願いいたします。(幹事／久保田克明 TEL0266-58-9875)
65		今年の同年会は卒業50周年を記念して、例年よりも盛大に開催したいと考えています。当番幹事の6部と地元メンバーで検討した概計画は次のとおりです。詳細についてはさらに検討し後日連絡しますので多数の参加をお待ちしています。1日目:10月21日(日)午後から蓼科高原をバス遊覧(紅葉真っ盛り)、夕方、蓼科温泉のホテル着・宴会・二次会・宿泊(宿泊を希望しない人は茅野駅までバスで送ってもらう)。2日目:10月22日(月)希望者による「ゴルフ大会」「ボート乗艇」等を企画する。また諏訪地域在住の65回生有志が集まっての飲み会である「八日会」は、引き続き実施しています。毎月8日の午後6時30分から上諏訪駅前の「いずみ屋」で固定開催しています。気軽に参加してください。諏訪地域在住者以外でも諏訪へ来た際にはぜひ顔を出してください。(幹事／青木成雄 TEL0266-53-0072)
68		68回生諸君! 集いて大いに語り合おう! 同窓会総会終了後、68回生の第12回学年会を開催します。皆さまには連絡できる学友と誘い合って是非学年会にご出席下さい(欠席される方で、近況等連絡事項のある時はFAX下さい。皆に伝えます)。日時:6月30日(土)18時30分から開催しています。会場:紅蘭(諏訪市湖岸通り5-17-7 TEL0266-58-1443)。会費:4,000円(当日会場で徴収。総会出席者は2,000円)。出欠の連絡は不要。(学年幹事／伊藤八郎 TEL0266-52-3769・携帯090-7953-0665)
69	無垢の会	「無垢の会ゴルフコンペ」を、100回開催を目指して、年4回開催しております。4月14日(土)の第45回を皮切りに、46回を6月20日(水)、47回を9月19日(水)、48回を11月17日(土)に開催予定です。いずれもフォレストカントリークラブ三井の森で行います。「無垢の会懇親会」は、昨年6月11日に東京で開催し、30数名の参加を戴き、ありがとうございました。今年は秋頃、諏訪の地で「無垢の会懇親会」を、同窓会担当学年開催10周年を記念して、また、65歳に到達し定年・退職者も増え、団塊世代が切り開いて来た過去を振り返り、ゴルフコンペとともに宿泊しての同年会懇親会を盛大に開催したいと思いますので、多数の方々のご参加をお願いします。詳細は幹事会後にて決定し、後日連絡します。(連絡先／学年幹事:矢澤博 090-3312-1469 ゴルフ担当:小口憲司 090-3063-5871)
71		恒例の「71回生学年会」を今年も同窓会総会にあわせて開催します。日時:6月30日(土)PM7:00～。場所:割烹仙岳(いつもと同じ)。昨年は27名参加で、還暦後の人生について語りました。また、昨年は11月に久しぶりのゴルフコンペを三井の森で開催しました。その折、「次回は学年会の翌日に」ということで、7月1日(日)に晴ヶ峰カントリークラブで計画しています。詳細は71回生メーリングリストで案内します。(幹事／渋谷利明 TEL090-4751-9642)



一級建築士事務所・建設業

株式会社 サイト

SITE

http://www.siteltd.com

専務取締役 斉藤正行 (79回生)



株式会社イングスシナノ

代表取締役社長 小林 秀年 (79回生)

〒393-0042 長野県諏訪郡下諏訪町北四王5415

TEL0266-27-8851 FAX0266-28-0112

URL http://www.ings-s.co.jp

72	篝火の会	平成 24 年 6 月 30 日（土）18：30 より割烹伊呂波（諏訪市大手 2-12-4・電話 0266-58-0365）で会費 3,000 円くらいで同年会を開催します。参加希望者は 6 月 23 日までに荒井までご連絡下さい。（幹事／新井滋平 TEL090-7008-4743）
76		東京清陵会 76 回生は、毎月第二金曜日を「二金会」と名付け、3 年ほど前から継続的に集まっています。定例化していますが、参加メンバーは、幾人かの常連を除き、必ずしも多くはありません。歳廻りとして会社等で仕事が最終コーナーになっている人も多いのだと、私は幹事として思っています。さて、今年は一昨年実現した「幻の修学旅行」の続編を企画しています。今回は大震災からの復興を目指す東北を旅行しようと企画中です。世界遺産に選ばれた平泉も訪れてみようと思っています。前回やむを得ず行けなかった方、これまでまだ再会できていない人も含めてご参加を呼び掛けていきます。諏訪や関西でも各クラスごとの同期会と、合同の同窓会を年始とお盆に定期的に行っており、交流をこつこつ続けています。在京 OB 何十人かへの「二金会」開催の定時メール。そして、まだ痛みや悲しみが多くみられるかもしれない被災地・東北への修学旅行。東北、そこは学びの宿を求めて青春を過ごした多くの清陵生とは昔から無縁ではありません。その後の人生を過ごしている仲間だっている。「僕等は決して 1 人ではない。清陵という松明は、まさに僕等の聖火なんだ」。そんな思いを僕ら 76 回生は、今年も新たにしています。76 回生のホームページも定期的な更新とはいきませんが、折々の活動報告、掲示板、ブログも一生懸命アップさせて頂いております。今年もみなさん、どうか一層、お元気で！ 今後も mixi や twitter、facebook の活用を通じて、76 回生のみならず清陵 OB の輪を広げてゆくことを継続してゆく考えです。※76 回生ホームページ： http://www.2plala.or.jp/yellowcard/index.html （東京清陵会 76 回生幹事／関屋孝行）
77		77 回生諸兄姉へ！ 再び皆で集まろうと思いますが、我々の名簿の整理・確認をするためにも住所異動等があった方々は、恐れ入りますが、各組幹事が私の方へご一報下さい。宜しくお願い致します。（学年幹事／長田光正 TEL0266-41-0172 住所〒 399-0422 上伊那郡辰野町平出 1607）
85		85 回生のみなさま、今年は清陵卒業 30 周年の節目の年だっでご存知でしたか？ それに気がついた数名が急遽思い立ち、回りですぐに連絡がとれる 85 回生に声をかけ、去る 3 月 17 日に東京で小さな同期会を開催しました。その準備の段階から「次は諏訪開催」の気運が高まり、諏訪からの参加者からも賛同を得て、この夏、8 月 4 日（土）を予定。地元諏訪にて同期会を開催する運びとなりました。この短信を読まれた 85 回生のみなさま、口コミで同期会開催の情報を広げていただくとともに、各自の連絡先、同期の知り合いの方の連絡先を次のメールアドレスまでお知らせください。suwaseiryu.085@gmail.com（※連絡先には住所、電話番号、メールアドレスを記載してください）。諏訪開催の詳細は追ってご連絡します。追伸：Facebook（FB）に 85 回生の交流を目的として「諏訪清陵 85 回生」のグループを開設しています。FB に登録済みの 85 回生の方はこちらも覗いてみてください。3 月 17 日の東京開催の写真、動画もアップされています。※「自分は 85 回生かな？」という方、現役入学だと 1963 年（卯）4 月～1964 年（辰）3 月生まれが該当です。（幹事代表：玉本広人＝1 部・諏訪在住、小池正行＝6 部・東京在住）
93	久燦会	93 回生の柳澤寿男氏のコンサートについて、同期の皆さんや先輩、後輩方にご協力いただきましたので紙面をお借りして御礼申し上げます。氏は現在、バルカン室内管弦楽団音楽監督ならびにコンボフィルハーモニー交響楽団首席指揮者として、紛争の傷跡が残るコンボと日本を行き来しながら、平和を願って音楽活動を続けています。その功績が評価され、第 16 回の信毎選賞を受賞しました。昨年 11 月 27 日には、新日本フィル交響楽団の指揮者を務め、カノラホールを満席にするほどの盛大なコンサートになりました。今回のコンサートで、特に 66 回、79 回、92 回、94 回の皆様には、学年幹事さんを通じて連絡していただいたり、同期の集いでお話をさせていただく機会を得たりして、特にご協力いただきましたことに、厚く御礼申し上げます。私は、学年幹事として、氏の応援団長を続けてまいりたいと思います。これから先も、諏訪の平らをはじめ、日本各地でもコンサートで指揮をする機会があると思いますので、同期の皆さん、ぜひ一緒に応援してまいりましょう。また、同窓生の皆様にも応援の輪を広げていかれればいいと思っています。ほかにも活躍している同期生がいれば、ぜひ応援をしていきたいと思っていますので、ご連絡ください。（学年幹事／吉川豪 yskwgo@yahoo.co.jp）

医療法人

市 瀬 医 院

院長 市 瀬 章 (79 回)

ペインクリニック 整形外科 内科 理学診療科

受付 午前 9：00～12：00
午後 15：00～18：00

休診 日曜 祝日 木曜土曜日の午後

下諏訪町西鷹野町 4 8 2 4（役場そば）

☎ 2 6 - 1 7 1 7

特許・実用新案・意匠・商標

三 枝 特 許 事 務 所

弁理士 三 枝 弘 明 (79 回)

諏訪市中洲 1602-3

電 話 0266 (53) 4197

F A X 0266 (58) 8602

学年会だより

マイクロサロン 岩井 利彦 (60 回生)

60 回生の同期会は「睦和会」といい、笠原文武会長と藤森和弘幹事の名コンビにより多くの交流が行われている。定期的には「東京睦和会」と交互に毎年 1 回開催される。

それとは別に「マイクロサロン」の呼称をもつ交流会がある。都内で 3 カ月ごとに昼食をはさんで懇談している睦和会有志の集まりである。小平宏が思い立ち、小口征男と共に 2000 年に立ち上げたマイナーな懇親会である。会の名称は、小平の会社の食堂を会場に借りて発足したことから、社名「マイクロテック」に因んだ。

会場に近い千葉付近の者が中心に 10 名ほど集まり、小平夫人の手料理が始まったが、来れそうな者・一緒に飲みたい者など手当たり次第にかき集め、今では登録メンバーは 40 余名となり、新年には 30 余名が集まる。伝え聞いて加わる人も絶えず、メンバーは増えつつある。

新年は横浜中華街（越後から進藤賢士、日立から五味重則が駆けつける）、4 月は高砂智之の紹介で四谷の東京ガスクラブで和食、7 月は恵比寿のビアホールと、会場とメニューは決まっている。

飲み食いするだけでなく、聞きたいことを適当な人に話してもらうことも多い。

クラブ OB・OG 会短信

物理部	世話人 飯田 修 (69 回) TEL：0266-23-1011 FAX：0266-23-1012	平成 23 年同窓会総会終了後、ホテル紅や別会場にて「元部員の集い」を開催しました。心は青春、清陵生に戻って大いに語りました。OB 会が過去を懐かしむ飲み会に止めず、科学好きの後輩育成支援に取り組もうとの提案がありました。Webpage を開設しております。
剣道部	幹事 石城正志 (78 回) TEL：090-5419-8812 (いしがき)	今年も 8 月 13 日（月）夕刻より OB・OG 会を開催いたします。昨年は 77 回～80 回の 10 名ほどの参加でした。まだまだ小さな集まりですが、次第に輪を広げていければと思っています。名簿掲載者には改めて詳細をご連絡しますが、それ以外で興味のある方は、事務局までお問い合わせください。
男子バスケ部	事務局 小口正芳 (79 回) TEL：0266-57-1417	OB 会としての活動は、毎年 OB 会報を発行し、現役の活動状況をお知らせしています。現役との交流として、新年会（1 月 2 日）、合宿最終日、清陵際の年 3 回、現役との対抗戦を行っています。
野球部	事務局 小口修平 (79 回) TEL：080-3248-4393	毎年の年会費から幾分かの用具支援を行っています。現在、マイクロバスの買い替えを近々に控え、それに向けて資金調達を検討しています。OB 以外の方からも歓迎しますので、ご協力いただければと思います。今年の現役と OB による OB 戦は、8 月 16 日午前 10 時より諏訪市清水町グラウンドで行います。

株式会社 ニチワ工業

代表取締役 寺 澤 茂 (79 回)

〒391-0003 茅野市本町東 3-17

電話 0266-72-6840

E-mail terasawa@nichiwak.co.jp



会報「従心」を年 1 回発行しており 12 号になった。会員による寄稿と、笠原会長はじめ諏訪の友から寄せられる懐かしい便りで誌面を構成し、現在では 40 数ページの冊子となって刊行される。今年は原稿の賛否を誌上討論した。諏訪では回し読みをしていると聞く。

分科会もある。碁会は、月 1 回 10 名ほどが都内の碁会所に集まる。年 2 回の泊まりがけの合宿も行っている。

旅行会は 10 人ほどで 2～3 泊の旅に出かけている。また、ゴルフ会も時々招集している。

アンチエイジング、あと 10 年は続くであろうかとの思いを抱きながら、和気藹々と集まる。幹事の手間を省くため、会員制にしているが、新規加入は大歓迎である。（幹事／岩井 043-489-5984 iwaitjn@wonder.ocn.ne.jp）

TOPSON ◆◆人材派遣・紹介・業務請負◆◆ TOPSON

トプソン株式会社

◇本社：東京都新宿区高田馬場 2-14-26 INO ビル 3F
TEL：03-5155-3335 FAX：03-5155-3334

◇多摩オフィス：多摩市永山

◇諏訪オフィス：諏訪市中洲

代表取締役社長 後 町 克 彦 (79 回生)

TOPSON ◆◆人材派遣・紹介・業務請負◆◆ TOPSON

哀悼—高木昭彦先生

昭和50年度から平成3年度までの17年間、さらには退職後平成17年度より母校の社会科学の教諭として奉職され、多くの生徒に対して「自ら考究しようとする目標と希望を与えて」くださった高木昭彦先生(64回)が、去る1月29日に逝去されました。高木先生の訾咳に接し、その後の人生設計を確立していった同窓生の数の少なくないことは誰もが認めてくださるものと思われまゝす。その高木先生に哀悼の意を捧げたく、それぞれお2人の旧ご同僚と教え子の方々にご寄稿していただきました。

嗚呼、高木昭彦先生

伊藤博夫(50回)

1月も晦日の午後、新聞紙上で高木先生のあの温顔と訁報に接し、声を失いました。

先生と最後に語り合ったのは、昨年(2012)の12月中頃、何かしら先生と話したく思い電話。話はいつもの読書。フランス歴史学のアナール派の研究者二宮宏之著作集が完結し、風樹文庫にあること、先生も関心が高く、清陵での授業の帰りに是非立ち寄りたいと語っておられました。そしてお互いの健康を誓い合ったのでした。

年賀状も頂きました。「柴田三千雄、遅塚忠躬、西川正雄、二宮宏之ら、若いときから影響、刺激をうけた人たちの論文、著作を、追悼をかねて読んでいます」でした。彼らには西洋史学の泰斗として必読の著書があり、今なお西洋史学の研究に情熱を傾けておられる先生の年頭所感に感じ入りました。

昭和55年4月、清陵高校に日本史担当として赴任するまで、私は高木先生あるを知りませんでした。幸運にも研究室を同じゅうし、歴史・哲学・文学・芸術等、広い分野に共通する話題で意見交歓を享受し得ました。話は石母田正著『中世的世界の形成』に及び、戦後中世史研究の出発点となった本書を、先生が深く理解し、本文を引用されたことに驚かされ、赴任1カ月も経過しないうちに並々ならぬ俊才であることを知り、以後、私の目標でした。

先生は古今東西の古典から、現代の森有正、丸山眞男、加藤周一に至る万巻の書籍や著作集を所有して読破し、教師としての素養を培い、大学教授級(の)力量を具え、その該博な知識を教室の授業で展開したのでした。先生は生徒に歴史への興味関心を呼び起こし、歴史とは何かの学問的探求そのものに喜びを感じさせ、生徒自らも考究しようとする目標と希望を与えました。生徒は先生の授業を待ち設け、授業後も先生を囲んで話に夢中、先生の影響で「大学では世界史を」の声を多く聞きました。

こうして形成された学力こそ大学受験にも耐え得る実力であり、これは事実により証明されております。清陵を去り二葉高校においても、またご退職後、清陵での講師にありてもその風は変わらず、1月27日金曜日まで論文の指導に当たったとのこと。将に明敏な人でした。

もし清陵に「学風」なるものがあつたとすれば、あるとすれば、それは、生徒に「学び方」を指導した三澤勝衛以来、私の知り得る範囲では、きちんとした授業により学問への眼を開かせた浜稲雄、吉澤治作、伊東一夫等の先生。学風が教育する者とされる者との、いわば魂の接点において成立するものであるとすれば、高木先生こそ、この清陵の学風の衣鉢を継ぐと言い得るでありましょう。この学風は相互の厳しい



研鑽により形成されるもので、真の学力形成と言い得るものであるはず(です)。これは安易な(受験型)中高一貫教育により達成されるものではありません。高木先生は中高一貫に反対され、これに靡く校風を憂慮されて(いま)いました。清陵の学風を継ぐ逸材の出現することを、先生は遥か天上から願っておられるでしょう。

高木先生の御霊に捧げます

古原正之(69回)

「高木先生が亡くなられました」。その電話はあまりにも突然だった。第5番「運命」の如くに私の耳に響いた。息が詰まった。呆然自失、そして虚脱感が広がった…。

体調があまり良くないことは36年前に出会った頃から承知していた。それにしても早過ぎる。惜しまれる人はそれ故に惜しまれるようにこの世を去るものなのか…。

高木先生(の)存在を知った日のことは今でも鮮烈に蘇る。農林高校で地理を担当していた私に、母校への転勤の話が舞い込んだ。即座にお断りした。「恵まれた生徒の大学受験に力を貸す気になれない。大学に行けない生徒の力になりたい」というのが当時の私の思いだった。そのことを恩師牛山正雄先生に話したら諭された。「それでは三沢勝衛先生の地理は受験だけの授業だったのか」。返す言葉がなかった。転勤に同意した私への「牛正」の一言が、「教育には充電の時期も必要だ。今のおまえがそれだ。清陵社会科学には高木という良い手本がいる。見習え」だった。

高木先生の碩学ぶりとその影響力は凄かった。授業を拝聴したわけではないが、研究室に高木先生を慕い、教(え)を請う生徒との会話から十分に察しがついた。単なる史実の羅列ではない、時の権力者とその時代背景に迫ったドラマチックな世界史が感じ取れた。

大変な読書家で、本人もその蔵書の重みで床が抜けることを案じていた。そうした豊富な知識に裏付けされた世界史の授業だった。生徒の心に響かない訳がなかった。

その凄さを知った私は硬く決心した。私には高木先生のような世界史の授業はできない。世界史の授業だけは担当しないと…。そのことを高木先生に話したら、お世辞に、「私も地理だけは担当したくない」と言ってくれた。それがどれだけ私の励みになったことか。

出会いから30数年後、再び清陵へ校長として赴任した時に高木先生は非常勤講師としていた。母校での再会が嬉しかった。何度も呼び止めては校長室で愚痴を聞いてもらった。時には、研究室に出かけて示唆を願った。放課後の研究室には決まって世界史の教(え)を請う生徒の姿があった。口述添削だった。その姿は出会った36年前と全く変わらない。

私だけではなく、かつての校長が研究室に訪れて来ては、高木先生に校長講話の題材となる本の紹介を受けていた。そうした校長講話を私は2例聞いている。

私は断言して言える。高木先生を超える世界史の教師はいない。「牛正」を第二の三沢だとすれば、高木先生はまさしく第三の三沢だと…。

高木先生、本当にお世話になりました。通夜の日にそっと触れた頬の冷たさを、私は生涯忘れません。高木先生の御霊に心安らかに眠れと心から哀悼の意を捧げます。

高木先生を偲ぶ

伊藤洋一
(81回・東京大学法学部教授)

多感な青年期の出会いは、人生に大きな影響を残すものである。社会科学の研究者となった私にとって、高木先生との出会いは、そのような出会いの一つだった。

高校で世界史の授業を受けた2年間のみならず、卒業後四半世紀以上も毎夏のように「社研」にお邪魔し、先生の上京の際には時折お目にかかって「雑談」したことを懐かしく思い出す。

世界史の授業では、単なる受験のための暗記物でも、英雄伝の連続でもない、構造的な歴史理解のおもしろさを教えていただいた。すべての学問の原点である「知的な面白さ」を知り、人文社会科学一般への関心を抱くようになったのも、先生との「雑談」のおかげである。高校時代に、大塚久雄『近代欧州経済史序説』、丸山眞男『戦中と戦後の間』、江口朴郎『帝国主義の時代』等を読み、アンリ・ピレンヌ、林達夫、山口昌男、和田春樹、宮田光雄、松井透といった学者の名前を知ったのも、先生からの刺激あればこそだった。特に大塚久雄の緻密な西洋経済史研究には、当時強い印象を受けたのを覚えている。今にして思えば、大塚、丸山両氏は、第二次大戦直後の日本の社会科学の二大巨星であつて、社会科学を志すような者であれば、遅かれ早かれ知らねばならない名前ではあつたにせよ、高校時代に高木先生の薫陶を受け、受験科目としての世界史を超えた、社会科学への手引きをしていたのは本当に幸運だった。

残念ながら、先生の逝去は、清陵にとって一つの時代が終わったことを象徴するように思われる。先生は、かつての旧制中学以来の、良い意味での教養主義を継承する最後の「名物教師」だった。先生は、「名物教師」という言葉が大好きでなかったようだが、卒業後も久しく社研にお邪魔できたのは、長く清陵・二葉高校におられたからこそである。しかし、平等なローテーションを優先する教員人事政策は、もはや「名物教師」の存在を許さなくなった。

更に、近年の受験重視の教育政策、学校内外の雑用ゆえに、今や教員用指導マニュアルと受験参考書以外の本をも広く読んで勉強を続けるのは困難となっているようだ。たしかに、第一線の歴史家と同じように内外の専門文献を読み、一次史料を駆使して研究をすることは期待できない。しかし、高校レベルでも、歴史が単なる年号・事件の集積に過ぎないのではなく、現在の問題意識と不可分であること、教科書ではわずか1～2行で書かれている叙述の背景に、その論証に

生涯をかけた歴史学者の努力があること、そこから歴史、更に広く人文社会科学の面白さを伝えることは極めて大切なことである。けれども、そのようなことができるためには、膨大な読書量に裏付けられた不断の研鑽が必要であることは言うまでもない。高木先生は、それを終生実践された先生だった。

経師は遇い易く、人師は遭い難し

辻 清隆(86回・現諏訪清陵高校社会科教諭)

高木先生には、私が清陵の2年生のときに世界史の授業を受講して以来、30年余にわたってお世話になりました。授業だけでなく、教育実習でも指導教官としてご指導いただきました。こう書く(と)堅苦しく感じられますが、高校時代はともかく、大学時代以降は、年に何回か、飲みながら「雑談」(先生の好きな言葉でした)に花を咲かせる、先生曰く「饗宴(シユンボシオン)」の機会を設けてくださり、楽しい時間を過ごさせていただきました。

私が高校の教員に採用された際、先生は、「20歳代は何事も勉強である」、「どの学校に赴任しても、教材研究を怠つてはいけない」という2つのことを私におっしゃいました。

先生の初任校は、昼間定時制の分校でしたが、そこで社会科学のみならず数学や体育なども教え、さらにキャラバンシーズを履き山道を歩いて家庭訪問をされるなど、様々な経験をされたそうです。また、今日と異なり、本の入手にも時間がかかるなど、勉強するのに有利な環境であつたとは思われませんが、そんな中でも先生はご自分で勉強を続けられました。そして先生は、独力で学んだことのエッセンスを、授業を通して生徒に伝えることに心血を注がれ、その姿勢は生涯一貫していらっしゃいました。

先生は、大学時代こそ、倉持俊一、喜安朗両氏に師事され、これも学生時代のことと思いますが、ロシア史研究会に出席されて和田春樹氏(の)話を聴かれたことがあると伺いました。しかし、ご自身が教員になられてからは、基本的にはすべてのことを自力のみで学ばれたのではないのでしょうか。とかく独学という(と)、研究対象に偏りがあつたり、本人の思い込みが強かつたりしがちなものですが、先生は、古今東西の書物を読まれ、それぞれの著者との対話を通して、単なる知識にとどまらず、ものの見方や考え方、そして生き方そのものを、ご自分のものとされていったのだと思います。

先生の学問に対する姿勢は、ローマの劇作家テレンティウスの戯曲にある「私は人間である。およそ人間に関わることで私に無縁なことは一つもない」という台詞を体現するものであつたように思われます。

『資治通鑑』の中の「経師は遇い易く、人師は遭い難し」という言葉は、「経書の字句を解釈して教えてくれる先生はいくらでもあるが、人の行うべき道を教え導いてくれる真の先生は得がたいものである」という意味だ(と)そうです。高校時代に、遭い難き人師に出会えた私は幸せでした。どんなに感謝しても、感謝し尽くせるものではありません。

先生のご葬儀の当日、外は雪でした。教え子たちの涙が、結晶となって空から降り注いでいるように、私の目に映りました。謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。

同窓会『会員名簿』発刊にあたって

諏訪清陵高校同窓会
名簿編集委員会委員長 古原正之

若葉の候を迎え、皆様ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

さて、このたびはからずも120周年記念『同窓会会員名簿』編集委員長を仰せつかりました。私、平成18年度より2年間母校学校長の役職を拝命したおり、同窓会の皆様方からは母校に対して物心にわたる温かなご支援をたまわり、そのこといまだに忘れ難く、心より御礼申し上げます。その感謝の意をもってこの機にあたり、同窓会に、ひいては母校に恩返しができればとの思いからお引き受けすることといたしました。

また、私事で大変恐縮ではありますが、実は80周年記念の名簿は父源之助が委員長を務めさせていただきました。思うに、この名簿編集は眼火の情熱をもってしても完全を期することのできないものと心得ます。あの世で父が気づいた瑕疵を私に引き継いで正せとでも言っているようで、気持ちを新たに誠心誠意務めてまいりたいと思います。

明治28年開校以来、1年1年と積み重ねてきた歳月が母校の輝かしい歴史をつくりあげ、比類なき人材を国内外に輩出してきました。同窓生は実に28,000人になんなんとしています。この同窓生が老若男女を問わず固い絆に結ばれ、懐旧の念を温め合うとともに、母校に対して、さらには社会的にもさまざまな貢献を果たしていることは、諏中・清陵の誇りうる伝統のひとつであることは言を俟ちません。

この固く結ばれた絆の拠り所として『同窓会会員名簿』がございます。この名簿は同窓生の親睦と交流、母校との連携に活用される媒体として重要な役割を担っています。過去、本同窓会では会則にもとづきおよそ10年ご

とに調査をおこない、改訂・発刊をしてまいりました。

母校は平成27年に創立120周年の記念の年を迎えます。前回110周年記念の名簿以降、音信の途絶えた方も年間に100人、200人となり、年ごとにその数が増えております。こうした状況下、同窓会ではこれまでの経験を踏まえて今回は早めに取り組むべく、名簿発刊をその記念事業として位置づけ、昨23年度定期総会で名簿発刊事業について会員のご承認をいただき、昨年12月から編集委員会を組織いたしました。

委員会では名簿の所載内容、プライバシー保護の問題、冊子の頒価などについてさまざまな観点から検討を重ねてまいりました。その選択肢は多岐にわたり多くの可能性をもつものではありますが、最終的に前回110周年と同様の内容と体裁を踏襲することにいたしました。物故者については資料的な意味からできるだけその情報を残し、会員相互で必要とされる最低限の情報を掲載することといたしました。もちろん会員の方々、あるいはご遺族にご都合のある場合は個々に対応させていただくべく、柔軟な編集姿勢を保持してまいりたいと思っております。

会員の方々には、こうした発刊趣旨をお汲み取りいただき、所載内容の正確性を期すために必ず調査ハガキをご確認いただき、編集委員会へその情報をお戻しくくださるようお願いいたします。

またプライバシー保護の問題、あるいは今後の情報通信のあり方を想像するなかで、このような形で名簿を発刊することは今回が最後となるやもしれません。ひとりでも多くの方にお求めいただき、ご活用いただければと願う次第であります。

諏訪清陵高校（旧制諏訪中学校）同窓会会員名簿概要

体裁：A4判・約850ページ

恩師名簿・50音索引つき

発行予定：平成27年6月ころ

予定価格：5,000円（税込）

ご注意

諏訪清陵高等学校同窓会では、お寄せいただいた個人情報をもとに、コンピューター上においてデータベース化し、それを用いて会員名簿を印刷し、会員のみに販売いたします。この名簿は清陵高校同窓会が発行するものであり、創立120周年記念事業の一環としての活動であります。他の民間業者による名簿発行とは関係がありません。紛らわしい名前を騙って住所等の調査および販売促進もありますのでご注意ください。

問合せ先

諏訪清陵高等学校同窓会名簿編集委員会（事務局出勤日は月曜・木曜）

〒392-8548 長野県諏訪市清水1-10-1 TEL 0266-58-0356 FAX 0266-57-0348

URL <http://www.suwaseiryo.jp/> E-mail dousoukai@suwaseiryo.jp

個人データ調査にあたって

諏訪清陵高等学校同窓会では以下の方針により同窓会が収集した個人情報を管理・取り扱いいたします。

1 個人データの収集

本同窓会では、氏名、性別、住所、電話番号、職業およびそれ以外で同窓生の方々の個人を認識できる情報（以下、この情報を「個人データ」といいます）を収集いたします。

2 個人データの利用目的

本同窓会では、個人データを、同窓会会員名簿の作成・発行、毎年発行する同窓会報の送付、地区支部長・学年幹事の求めに応じてのデータ提供、および同窓会の諸事業に利用します。

3 収集した個人データの管理

本同窓会では、会員から提供された個人データを、個人

情報保護法の立場に立って、適切に管理します。

4 秘密の保持

本同窓会では、同窓会および同窓会活動に関係しない第三者へ、個人データを提供・開示・販売することはいたしません。

5 個人データの訂正・変更

個人データに誤りを発見した場合、転居・転職等により変更が生じた場合は、ハガキ、Eメール等により事務局までご連絡ください。個人データを随時訂正ないし更新します。

6 その他

同窓会がデータを保持すること、あるいは名簿への記載を希望されない場合は、調査のハガキの項目ごとに対応いたしますので、その旨ご記入ください。

個人データ記入要領

回答ハガキ裏面の会員個人データの内容をご確認いただいたうえで、修正・変更・追加のある場合は、直接ハガキをご投函くださるか、前記同窓会ホームページの個人データ変更ページのフォーマットにより変更くださっても結構です。また、前記同窓会メールアドレスへ変更事項をお送りいただいても受け付けます。

はがき裏面（会員個人データ）

ハガキに印字されているデータの内容をご確認いただいたうえで、修正・変更・追加のある場合は、赤字で空白部にご記入ください。なお、同窓会がデータを保持すること、名簿への記載等に不都合がありましたら、その旨をお書き添えください。

①入学年 諏訪清陵高校（旧制諏訪中学校）に入学された年です。

②氏名 名簿に掲載される氏名が印字されています。氏名等の掲載に不都合がある場合はその旨お書き添えください。会報等の発送は現在の氏名で発送することも可能です。

③旧姓・旧名／ペンネーム・雅号等 旧姓・旧名についてはそのまま、ペンネーム・雅号等については（）を付して印字してあります。旧姓・旧名でない場合は「筆名」「芸名」等と添書きをお願いします。なお、旧姓・旧名の場合はどちらか片方でなく、フルネームでお願いします。

④出身地 下記〈出身地リスト〉（昭和30年合併前の市町村名）より該当する地区が印字されています（中大塩は複数村にまたがるため独自に「中大塩」としています）。このリスト以外の方は、県内の方は市町村名を、県外の方は都道府県名を印字しています。訂正がある場合、この基準でお願いします。

⑤出身校 最終学歴（学部等を含む）を印字してあります。現在、学生の方はその学校・学部等を記載してくだ

さい。

⑥現住所 名簿に掲載する住所を印字してあります。会報等の発送宛先が別の住所が都合の良い場合（転居等が多く、実家へ会報を発送してほしい、あるいはその逆など）は、記載住所とは別に同窓会で保持しますので、その旨、お書き添えください。また、これまでに住所は名簿に記載しないしてほしい旨のお申し出のあった方についても、今回は便宜上、掲載する状況で印字されています。大変お手数ですが、再度、掲載しないのご意向を明記してください。E-Mail アドレスは今回の名簿には記載しませんが、今後、同窓会事務局との連絡の利便性を考慮し項目を設けました。お差し支えなければご記入ください。

⑦旧・現勤務先 基本的には職歴という扱いのデータを印字します。また、戦没者についてはお差し支えない範囲で戦没時の場所等を掲載したいと思っておりますので、情報をお寄せください。

⑧同窓会データ上の生死の別 死亡についてご連絡いただいた方は「死亡」と印字してあります。死亡日等確定できるようでしたら情報をお寄せください。また以後、同窓会からの連絡がご不要の場合等、ご要望にお応えいたしますので、その旨お書き添えください。

⑨名簿の購入 個人情報の保護、あるいは情報化社会の進展のなかでこのような形での名簿の発行は最後となるかもしれません。できるだけ多くの方のご購入をお願いします。

⑩広告の掲載 広告掲載を希望される方は後日詳細についてご連絡いたしますので、連絡先等をご記入ください。できるだけ多くの方にご協力いただくようお願い申し上げます。

広告掲載料金

1ページ 100,000円

1/2 ページ 50,000 円
1/4 ページ 30,000 円

(広告を掲載された方には同窓会名簿を1冊贈呈いたします)

①所属地方会 名簿には掲載しませんが、お差し支えなければご記入ください。

②所属クラブ 名簿には掲載しませんが、お差し支えなければご記入ください。

③通信欄 本紙「不明者および物故不明者（亡くなった方でご家族と連絡がとれない方）リスト」について連絡先等がお分かりの場合、ご記入ください。その際、何回生との記載もお願いいたします。書ききれない場合、お手数をおかけしますが、お手紙等でご連絡ください。ま

学年幹事名簿

回生	氏名	〒	住所	電話
34				
35	山田 六一	392-0027	諏訪市湖岸通り 2-5-6	0266-52-0708
36				
37				
38	小林 克巳	399-0102	富士見町落合 4520	0266-64-2063
39	土橋 徹三			
40	加々見一郎	399-0101	富士見町境 3998	0266-65-3420
41	宮澤 七郎			
42	井上 彦次	392-0027	諏訪市湖岸通り 5-3-7	0266-57-4140
43				
44	山岸 淳	392-0027	諏訪市湖岸通り 4-10-18	0266-52-0327
45	小松 一弘	392-0024	諏訪市小和田 16-3	0266-52-6911
46				
47	小口 祐一	399-0745	塩尻市大門桔梗町 6-5	0263-53-3141
48	河西 孝夫	392-0007	諏訪市清水 1-11-19	0266-53-2248
49				
50	宮阪 芳久	394-0004	岡谷市神明町 3-8-29	0266-23-1176
51	大堀 京一	392-0001	諏訪市大和 1-16-23	0266-57-5008
52	千葉 春男	392-0004	諏訪市諏訪 2-11-33	0266-58-6658
55	五味 省七	391-0011	茅野市玉川菊沢 6401	0266-72-3634
56	神山 幸雄	393-0052	下諏訪町上久保 6025	0266-27-8465
57	茅野 嘉利	392-0001	諏訪市大和 3-5-5	0266-52-6564
58	笠原 忠夫	394-0035	岡谷市天竜町 3-12-22	0266-22-2089
59	中島 伸一	392-0015	諏訪市中洲三俣 5691-6	0266-53-3852
60	笠原 文武	392-0027	諏訪市湖岸通り 5-17-1	0266-58-2328
61	土橋 勉	391-0001	茅野市ちの上原 1311-1	0266-72-4840
62	濱 弘章	392-0001	諏訪市大和 2-3-4	0266-53-2174
63	久保田克明	392-0005	諏訪市岡村 2-16-2	0266-58-9875
64	山崎 晃	392-0015	諏訪市中洲福島 5426	0266-53-1722
65	青木 成雄	392-0001	諏訪市大和 1-3-15	0266-53-0072
66	蒲地 重明	392-0016	諏訪市豊田 182-1	0266-58-2204
67	今井 大二	394-0035	岡谷市天竜町 3-19-25	0266-22-8423
68	伊藤 八郎	392-0012	諏訪市四賀普門寺 202	0266-52-3769
69	矢澤 博	391-0013	茅野市宮川舟久保 5334-13	0266-72-8974
70	小松 重一	392-0006	諏訪市元町 10-11	0266-52-1529
71	渡江 利明	392-0017	諏訪市城南 1-2644-3	0266-58-5470
72	新井 滋平	394-0086	岡谷市長地源 2-8-19	0266-28-4055
73	松木 敏博	392-0012	諏訪市四賀赤沼 1918-1	0266-52-3981
74	今井 竜五	394-0001	岡谷市今井 1832	0266-22-2584
75	柳平千代一	391-0213	茅野市豊平 2361	0266-72-8867
76	朝倉 義信	391-0301	茅野市北山 6695-1	0266-78-2559
77	長田 光正	399-0422	辰野町平出上町 1607	0266-41-0172
78	足立 孝幸	391-0001	茅野市ちの 2557-3	0266-72-2217

た、同窓生にお身内の方があ場合（親子・兄弟）もお書き添えいただければ幸いです。

ご家族の方へのお願い

ご本人が結婚・転居等でおいでにならない場合、あるいは既に亡くなっている場合は、ご面倒をおかけしますが、ご本人に代わってご記入ください。なお、亡くなされている方についてもできるだけ把握し、ご職歴等を掲載したいと思いますので、お身内の方がリスト上不明者となっている場合は、ご連絡くださるようお願いいたします。また、死亡年月日についてもご記入くださるようお願いいたします。不都合な点がございましたら、遠慮なくお申し付けください。

回生	氏名	〒	住所	電話
79	岩波金太郎	392-0015	諏訪市中洲福島 5141	0266-58-6337
80	松崎 寛	392-0015	諏訪市中洲福島新町 5531-13	0266-52-6340
81	山村 宜男	392-0012	諏訪市四賀赤沼 1640 赤沼精和荘 3318	080-5369-1215
82	丸茂 洋一	391-0011	茅野市玉川 6517	0266-73-6388
83	雨宮 左京	399-0214	富士見町落合 12023	0266-62-3728
84	矢崎 宏明	394-0033	岡谷市南宮 1-2-23	0266-24-2508
85	小池 正行	170-0011	豊島区池袋本町 4-47-12-419	03-3984-3379
86	玉本 広人	392-0016	諏訪市豊田 1830-6	0266-53-3121
87	林 聡一	394-0028	岡谷市本町 2-2-1	0266-22-8680
87	味澤 敏行	394-0044	岡谷市湊 4-7-8	0266-22-1427
88	倉科 和則	192-0363	八王子市別所 2-18-2-507	
89	清水 幸長	391-0104	原村弘沢 5770	0266-79-4723
90	小河原一浩	470-0156	愛知県東郷町 1-20-27	0561-39-5080
91	藤森 完一	981-3327	宮城県富谷町大清水 2-21-2	
92	笠原 健一	392-0001	諏訪市大和 2-12-2	0266-58-2328
93	吉川 豪	399-0211	富士見町富士見 3101-100	
94	藤森 賢也	606-8005	京都市左京区山端川岸町 46-12	075-723-7787
95	花岡 正次	384-2305	立科町芦田 573-2	0267-56-2641
96	矢ヶ崎明德	399-0400	辰野町下辰野 1801	0266-41-0127
97	小河原賢吾	399-4432	伊那市東春近 6301-1	
98	宮坂 貴也	391-0013	茅野市宮川 11329-3	0266-73-5737
99	荒木健太郎	194-0012	町田市金森 310-3 グレートヒル金森Ⅲ -103	
100	畑山 純	392-0015	諏訪市中洲 2465-11	0266-58-2262
101	當重 貴大	399-0428	辰野町伊那富 2564-3	0266-41-3251
102	高木 政志	390-0303	松本市浅間温泉 1-5-1-32	
103	織田 雅之	192-0907	八王子市長沼町 756-5	0426-32-7917
104	宮崎 希	391-0000	茅野市中沖 2-8 グラーヌ中沖 B201	
105	中島 孝介	394-0031	岡谷市田中町 2-7-26	0266-22-0598
106	松下 真大	394-0045	岡谷市川岸東 3-11-17	0266-22-7983
107	小林 優也	392-0131	諏訪市湖南 1-7	0266-58-4336
108	丸山 悠太	399-0428	辰野町伊那富 2769	0266-41-1764
109	五味 紘大	399-0213	富士見町乙事 5545-2	0266-62-2737
110	中村 智哉	399-0421	辰野町辰野 722-10	0266-41-4110
111	有賀 雄大	392-0015	諏訪市中洲 3695-2	0266-57-2980
112	青野 翔	391-0011	茅野市玉川 3158	0266-79-4216
113	北原 智啓	480-1155	愛知県長久手町平池 303 藤が丘レジデンス 105 号	
114	塚田 光貴	392-0012	諏訪市四賀 2087	0266-53-0146
115	平林 怜	392-0016	諏訪市豊田 3093-2	0266-52-4035

音信不通者リスト（会報等の郵便物が届かず、同窓会にご住所などの登録のない方々です）

第 1 回生
明治 28 年入学

大石 信 (飯尾 信)
梶村 勝平
小林 清信
谷 重彦
守矢 政治
吉瀬亀之助
【物故者】
伊藤 勝美
伊藤 勝郎
伊東 珍平
伊藤林之助
今井 参男
岩波 佐平
岩波 茂雄
岩波 泰雄
岩原 正平
牛山 茂兄
大宮 隆衛
小口沢次郎
小口 大輔 (小口正夫)
金子 直一
北沢 英寿
溝口 卓郎 (国枝卓郎)
小松 一郎
小松金重郎
小松 久夫
篠原武一郎
白川 潔
小口 忠彦 (高木幸六)
武居安太郎
辰野茂登太
田中 実
田中 義一
名和 長正
仁科 真人
林 延次郎
林 健吾 (林 茂)
林 静雄
原 一雄
平林 光英
藤沢 璋三
藤森 源吾
藤森美代吉
丸山 孝
三沢 弘
両角 虎雄
両角弥太郎
矢島 重郎
吉江 忠作
吉田 一郎
【物故者】
勝沢 梁三
長田 武平

岡部 善平 (茅野善平)
花岡 正寿
原 正幸 (原三男治)
三輪 重一
吉川 静雄
【物故者】
有賀半兵衛
飯田 鼎重
伊藤 奇策
伊藤 久平
伊藤恭四郎
矢沢金次郎 (伊東金次郎)
伊藤 義視
今井是三郎
今井 真平
岩波 庄吉
牛山 泰一
牛山 法生
海野 幸徳
小川円次郎
小川 子郎
小口吉左衛門 (小口増雄)
長田 良次
小野 道寛
柿沢 保
河西 駒吉
笠原 富夫
春日 護
金子 治幸
神尾 謙吉
唐沢 舍人
神沢 諭司
中村太郎八 (行田太郎八)
国枝 邦次
小池 源六
小平 真平
小平芳之丞
小林 清春
小松 豊作
小松吉一郎
五味太兵衛
三輪庄太郎 (坂本庄太郎)
笹岡 晴吉
篠原 久雄
清水 久朗
清水 豊次
清水 猶人
清水 初平
清水 祐吉
諏訪 頼固 (諏訪鎗太郎)
関 徹郎
高橋 末蔵
田中 源吾
田中 竹衛
茅野儀太郎
牛山 斎助 (中村斎助)
塚田 広路 (新村広路)

第 3 回生
明治 30 年入学

今井 俊蔵
岩沼 邵平
長田 武平

大森万次郎 (野沢万次郎)
延川 直臣
波間 保助
林 国一郎
樋口勇太郎
人形 源弥
平林市兵衛
藤森 良蔵
古畑 銀作
細川 幸重
林 正善 (増沢正善)
丸茂 一二
宮坂寛一郎
上田 文胤 (宮坂文胤)
林 国蔵 (宮沢豊助)
村松富太郎
守矢 真幸
矢崎 豊久
柳沢 貞二
柳平栄治郎
【物故者】
金井 真澄
北沢 貞造
下条 義重
白鳥 正男
畑 実
朝倉 豊平
阿部 久蔵
石田 静寿
伊東浅次郎
伊藤 清治
岩波 純一
岩波 亨
岩波 而章
岩波 良雄
牛山 成一
中山 満吉 (太田 満吉)
岡部徳治郎
岡村 光平
小口 義賢
河西 逸見
笠原 正三
笠原 芳江
片倉兼太郎 (片倉 修一)
勝田 正彦
金井 清
唐木 隆伯
北沢 久治
木村 賛夫
工藤 通知
国枝 三郎
新村 恭 (黒沢 恭)
小池 和寿
小池 守 (小池 源造)
小池惣左衛門
小島 三郎

第 5 回生
明治 32 年入学

飯田 一布
牛山正右衛門
奥山 幾博
上条 良作
木村 真
篠原 円次
中村 則雄

林 寛道
原 東穂
原 義一
藤森 勝郎
百瀬治五作
矢崎 寛次 (柳沢 寛次)
山上 政広
【物故者】
秋山嘉伊之助
浅川 徹英
蘆澤 正男
五味 正治 (鮎沢正晴)
有賀 丈夫
伊藤 植柄
伊藤 英雄
伊藤 正夫
伊藤本末郎
岩波 太平
岩本新一郎
岩本 卓爾
岩本 義恭
牛山万之丞
牛山 美広
大久保愛之丞
小木曾 俊 (太田 俊)
大和 常三
小川 小一
小川 光吉
小川 彦衛
小尾勘一郎
片倉知恵蔵
上島 慶篤
柿沢助之丞 (河合助之丞)
河合 斎
北原 清房
北原 吉作
久保 直恵
黒沢万喜知
小池市三郎
小池仙之助
小池 千助
小池 冽 (小池平吉)
小池 勝
小池安右衛門
小平 忠平
小林 市郎
小松 秀吉
五味次兵衛
塚田 貢
中沢 義夫
宮沢 鉄三 (篠原鉄三)
柴田 正義
清水 正
鈴木 時一
高橋今朝雄
高山 康
武井 伊平
竹入 清
武田 光作
竹村庄一郎

第 6 回生
明治 33 年入学

青木利兵衛
赤羽二郎三郎
小口 厚美
春日 幸雄
金井恭之助
川上豊一郎
小池 一郎
河野 重治
小松 勝
千野 広
塚田 貢
中沢 義夫
中島 宅馬
馬場 彰
藤沢 正豊
向井 重弘
望月 正生
【物故者】
雨宮新重郎
鮎沢 清
鮎沢仁太郎
荒木 宗治
伊藤 戊亥

小口 正一 (伊藤正一)
今井登志喜
今井 保平
岩波 恒三
上原悌三郎
久保田楓之助 (植松楓之助)
鶴飼 盈治
細田鮎之丞 (牛山鮎之丞)
牛山 誠吉
牛山 初一
小穴 卓爾
小河原俊能
小口 源一
奥村円之佐
小尾 勝平
折井 才二
村上 俊吉 (河西俊吉)
片倉 直人
片倉 政雄
北沢恭一郎
木下 和雄
河西 莊三 (桑沢莊三)
小平十作弥
花岡 義照 (小平義照)
後町金太郎
小林正一郎
小松浅五郎
小松竹三郎
五味 寿一
塩沢 芳郎
志津 俊規
篠達 正雄
清水 角平
清水 金衛
霜田 節
菅沼 亨
関口 広司
早出六兵衛
高木 博雄
高梨 満林
武居 清助
竹村 清治
田中綾之助
田中 五郎
千葉 康胤
常松 四郎
津野 精明
永関 寿良
長田 朝一
中村 厚輝
中村 久重
西沢並三郎
野沢 富恵
浜 惣重
浜 宗助
林 利喜平
原田今朝治
樋口 兼彦
平林 実輝
福田 宗六

笠原 清
笠原 国男
片倉 栄
金子 武
金子 信雄
金子 豊
後町 茂敏
小松 義藏
五味義喜知
篠原 茂雄
柴田 正象
清水 一蔵
清水 茂弥
城倉 忠衛
新谷 国男
進藤武左衛門
立木 勝蔵
茅野 重吉
茅野 成司
茅野 広
茅野弁之助
梅井 篤磨
辻 敏夫
中澤 留六
中西 健治
野澤 佐一
橋爪 克己
下平 代治
(橋爪代治)
花岡 一男
浜 勝雄
浜 浩
林 三次郎
林 勇二
林 勇蔵
(林 美登)
林 吉之助
原 武
原 徳治
平野 徳蔵
藤澤源四郎
藤森 清
藤森 国彦
藤森 正治
増沢 可也
宮坂庄次郎
(宮坂賢一)
宮澤 了
三輪 知雄
村田 利男
守矢 憲治
両角磯三郎
両角 均一
矢島 義雄
山岡 庸雄
山崎 忠吉

第19回生
大正2年入学

石原 文海
岩波 竜雄
小平忠三郎
茅野 与重
筒井 九三
畑 牧隆
花岡 善重
藤森 貞良
宮坂 俊雄
森 徳郎

柳澤 国臣
山吉 茂夫
吉川諏訪男
【物故者】
朝倉久我志
井手 順
井上 利男
今井 毅
上原 栄
牛山 浩三
小口 順一
高橋 英夫
(小口英夫)
小口 義彦
小野 弥一
寛 篤郎
武井 方介
(片倉方介)
溝口 寿雄
(上條寿雄)
久保 健
小澤 俊雄
小平 勝雄
小松 住衛
小松 節治
小松 鷹雄
小松 範雄
五味 正雄
五味 豊
里見三千穂
佐野 常樹
澤 満重
高田 農雄
高波 誠治
高橋千佐男
田中 利長
田中 長男
土橋 彰
土橋 鶴松
長島 忠雄
中村 七郎
浜 貫一
平林 武春
平林 利貞
永田 信
(藤森 信)
細田 泰助
増澤 圭吾
増澤 正樹
松原 正香
(丸山正香)
溝口 睦美
三村親太郎
宮坂 正保
両角 茂玄
両角 政俊
山岡 茂
山岡 直衛
山岡 良作
湯田 豊秋

第20回生
大正3年入学

伊藤 喜団
伊藤 昌司
伊藤 直正
加々見 功
金子 保
後藤 季武

篠原 寅雄
杉浦 留雄
新村 式三
宮澤 準二
守屋 源一
柳澤 功
山鹿 愿
【物故者】
鮎沢 要
赤沼 哲
池田英一郎
伊藤 一男
伊藤 定躬
伊藤 平
伊藤 哲夫
伊藤 虎男
伊藤 利八
今井 一内
今井 徳郎
今井 与六
今井 与六
久保 健
宇治 光春
小口 直市
小口 孫六
柿澤 哲郎
河西 信三
加藤継之助
兼子 専雄
神澤 朝光
木川 弥一
北原喜代登
小口 勇雄
小松 義直
五味 良人
榊原 貫逸
里見 蘭隆
清水 軌春
高島 鉄郎
両角 邦直
(武居邦直)
竹村 弥一
田中 定男
田中 友久
千野 秀吉
土橋 文雄
土橋 安次
中島 卓郎
中山 鉄治
西澤 俊夫
林 賢太郎
林 忠志
林 竜市
原 喜字次
伴 俊男
福澤 易美
藤森 貞雄
藤森昌三郎
降幡 英雄
堀田 重正
堀田 光次
宮坂 章一
増澤善之助
(宮坂善之助)
宮坂 利明
矢崎 喜六
矢崎 義人
小口寿三郎

(矢島寿三郎)
矢田 了
柳澤 敏文
柳平朝太郎

第21回生
大正4年入学

後藤 至方
小林 季樹
千本 四郎
滝沢 素信
角田 岳松
手塚 俊一
中沢 肇
平田 早苗
細江 菊丸
三宅 正人
宮原 建彦
(宮坂建彦)
百瀬 庸寛
【物故者】
鮎沢千万治
有賀 春雄
飯田 莊士
伊沢 公幸
石原 一男
伊藤 千房
宮下 義一
(伊藤義一)
牛山 三幸
太田 敬三
岡部 作一
小口 虎一
小口 三蔵
小幡勇二郎
帯川伊喜重
河西 尚一
笠原 正俊
笠原 正衛
金子 直衛
北沢 克郎
小口 政雄
(北沢政雄)
工藤 友恵
小飼 成一
小平三喜男
小林 勉
小松六之助
小松忠一郎
荒川 美三
(小松美三)
五味 一雄
古村 武
酒井寅次郎
篠原 武雄
武井吉太郎
(武井正一)
立木 四郎
田中 司郎
千野 貞昭
永田 真義
野田 栄
野沢 竹人
花岡 儀助
花岡喜三夫
花岡 清助
林 正一
林 虎男
原田 泰雄
藤澤 千根

堀野 佑介
三村 終蔵
宮坂善三郎
宮坂 延次
村上 一武
守屋 節司
矢崎茂登美
湯沢 梧郎
米倉鮎次郎

第23回生
大正6年入学

鮎沢 翠雄
(鮎沢竜吉)
伊東 祐晴
小椋 一美
黒河内 透
茅野 節
角田 善俊
新村 元
馬場 武雄
藤森作次郎
宮坂 博人
(宮坂 博)
吉沢 虎雄

【物故者】
青木 末弘
有賀 進
石川 重祐
今井 久雄
牛丸 四郎
大森 忠夫
小口 新弥
長田 実夫
小尾外征年
笠原 泰
片倉 敬一
金子 克郎
小池 長人
小松 輝一
五味 宗一
五味 辰雄
酒井 新平
清水 利貞
関 伊作
関口 一郎
高木 恒三
高木 篤郎
竹村 信清
田畑 頼衛
千野 政三
内藤 一男
中島 雅雄
名取 一英
西沢 武夫
野口 光亨
浜 一
平林 博
福田太和児
藤沢 健三
中島 為好
(藤原為好)
細川 元一
増沢 武男
松沢 寛忠
(松沢広夫)
松沢 正人
丸茂 文太

丸茂 保登
三沢 清彦
宮坂 準
両角 譲
矢崎福之助
山中 寿

第24回生
大正7年入学

伊藤 貞利
太田 実規
春日 正紀
加藤 千仞
金沢信一郎
鎌倉 法隆
上島 明
神沢 久吉
村山 敏
(神戸 敏)
小町谷晋平
五味 喜通
志賀 満雄
渋谷 本衛
関 道雄
吉田 隆雄
(中島隆雄)
名川 光彦
名川 光広
新村 達美
花岡 金夫
羽生 昇
藤森 恵
藤森 庫次
古屋 從迪
松田 光巳
丸茂 督
余語 久三
渡辺 得三

【物故者】
秋山 貞衛
雨宮 尚治
有賀 奎吾
有賀武四郎
飯田 英一
両角 元一
(伊東元一)
伊藤良太郎
今井 紀
鶴飼 克二
牛山 征明
牛山 喜
大島 武司
小口 彦七
小口 光男
小原 亮雄
河西英一郎
片倉 太郎
金田 卓
北原 覚雄
小松 真象
小松 義人
斉藤 智俊
里見 良徳
篠原 弥助
島田 国義
清水 勝
進藤 重鼎
永井 友巳
(高橋友巳)

武居 薫
玉木 三七
千野 武雄
太田 和夫
(寺島和夫)
小川 義則
(鳥羽義則)
中原 克巳
中村 吉治
新村 要
新村 千春
新村 義広
向山 蒔時
(畑 蒔時)
浜 勇治
林 太朗
原 元治
原田 源治
平井 勝元
平川 二郎
平松 金人
藤田 愛吾
藤森 正巳
藤森 泰
高橋 佑二
(堀内佑二)
増沢佃充夫
(増沢田鶴雄)
松井喜久男
三沢 光博
宮沢 武夫
宮坂 勝衛
宮沢 克巳
守屋 昇
両角佐平治
矢島 巖
矢島 波雄
柳沢 辰秋
山岡 克巳
山田 高春
山田 輝里
横川 昂

第25回生
大正8年入学

河西 保
唐沢 亮平
倉沢源太郎
河西 竜二
(小平竜二)
小林 重治
重盛 栄良
高橋 幸雄
田中 謙次
田中 真弓
田村 憲也
中島 光次
三石 澄
(藤島 澄)
牧江 春男
矢崎 普門
(矢崎篤美)
横田 巖

【物故者】
青柳 博
有賀 勝
有賀 益城
飯島 義明
飯田 豊治

飯田 安夫
碓井 菊衛
(石井菊衛)
伊藤 千五
今井與左衛門
岩波 光風
岩波 実茂
羽柴 正
(上原 正)
上原 成自
太田 和彦
高木 正夫
(小川正夫)
小口 貞雄
小口登志男
河西 喜市
河西 次郎
笠原 悦郎
金子 五介
金子 守
金子 哲郎
(上条哲郎)
上条 良長
北沢英一郎
黒沢 英夫
小林 金市
小林 義吉
下村 二郎
竹村 勝作
茅野 有
土屋賢一郎
名取 五郎
波田野 俊
花岡 守人
浜 重雄
浜 秀雄
林 克哉
(林 岩雄)
林 清人
林 暉朗
林 昌蔵
林 卷一
林 友治
原 光男
原 隆次郎
平林 馨
平林 貴邦
藤森 本次
降幡 倉雄
増沢 茂樹
丸茂 一平
丸茂 清
丸茂 元一
見波 薫
宮坂 亀雄
宮沢 立郎
(宮沢金一郎)
村松 喬
森元紀美雄
両角 重吉
諸田 正男
矢崎 勝晴
矢崎 善吉
矢島 市平
矢島 健児
矢島 稔
矢島 羊吉
柳沢 松一

山田 統
山田 和市
吉沢 速雄

第26回生
大正9年入学

赤羽 直治
浅川 富雄
有賀 峰夫
今井 鉄郎
岩井 友次
植松 竜
小川 作治
春日 正夫
加藤 正
北沢 直次
北原 真一
田村 正平
角田 朝水
寺沢 勉
林 洋太郎
北条 和高
増沢 潔人
宮坂 秀次
【物故者】
浅川 清二
雨宮 力
井硯 尚
市川 福治
今井 俊
片倉 二郎
(宇治二郎)
太田 明夫
小口 勝衛
小口 源六
小口 徳雄
小河原治男
(小口治男)
小口 植登
小口 光男
尾沢 陸平
小山 誠一
川西 光信
笠原 正芳
(笠原正波)
笠原 保仲
金子 俊平
金子 論吉
監物 広太
功刀 史郎
久保川年一
久保田 隆
小池 元二
後町 要
羽田 和夫
(小林和夫)
小林 善生
小松 和男
小松邦太郎
小松 晋
小松 摂郎
小松 孝
小山 定雄
塩沢 正二
篠原 睦夫
新谷 博
高木 道海
戸田 健吉
三溝 芳郎

(内藤芳郎)
中村 勝忠
中村 十郎
名取 寛治
浜 次雄
横内 勇
(林 勇)
林 毅一
林 孟
林 六郎
原田 正次
平島 嘉門
平林 豊邦
犬飼政五郎
(平松政五郎)
藤森 環治
藤森 史郎
北条 国嘉
堀内 次郎
増沢 嘉久
御子柴 清
翠川 淳
宮坂 建城
本島 五七
百瀬 初雄
両角 四郎
両角 武方
柳沢 計男
山岡 五郎
山田 正光
山主 岩保
八幡 松雄

第27回生
大正10年入学

伊藤 勇
伊藤 鶴
古村 義夫
佐藤 平一
滝沢 秀一
武居 一博
竹内信次郎
中村 喜義
浜 肇
古田 六郎
馬淵 義三
三井 保蔵
宮坂喜四郎
尾沢 利夫
(宮坂 利夫)
土田三千雄
(森元三千雄)
森山 忠雄

【物故者】
赤羽準一郎
有賀 清
池田 博
伊藤嘉平治
伊東 忠蔵
伊藤三男三
伊藤 綏
井上 幸雄
今井 博朗
今井 待哉
岩田 利雄
牛尼 清実
金子 寿治
(大久保寿治)
小川 四郎

小口 俊一
小口 只雄
小口 政雄
小坂 英勝
小沢 真男
帯川 豊
河西 助蔵
笠原 槐
笠原八洲男
金子 司
金子 正枝
神林 一男
菊池 武男
北沢 英司
北沢 二郎
北沢 壽久
熊谷 白
小池 三郎
小池忠治郎
小池 正晴
小泉 公人
小平 常雄
小平 正男
中山 旭美
(小林旭美)
小林 重吉
小松 勝治
五味 美一
五味 義久
小山 貞夫
坂本 賢三
志賀 克巳
清水 仁郎
清水 末男
清水 正
進藤甲斐雄
高木 忠蔵
竹内肥富美
竹村 浜善
田中 郁
橋詰 博
花岡 千男
浜 恒治
原 文人
原 平吉
伴 琢二
平林 新一
藤森 正一
藤森 康男
溝口 幸豊
宮坂 正一
宮坂 利夫
村上 勇
守矢甲子雄
矢崎 重信
矢島 四郎
山岡 孝
山川千代春
山田 勝郎
山田 坂仁

第28回生
大正11年入学

浅尾 昌明
井口 莊三
大滝定兵衛
唐沢 弘人
志村 吉造
長田 碩司

(鈴木碩司)
藤森 嘉治
宮坂 健一
宮坂 重一
横内 憲夫

【物故者】
青木賢一郎
赤羽 利長
味沢作太郎
飯田伊三郎
飯田牧三郎
飯田 耕夫
石田 来治
伊藤 俊蔵
伊東 染二
今井 信男
牛山 幸男
太田万次郎
大森 深
萩原 定雄
土谷 武夫
(小口武夫)
小椋 恒夫
小尾 庸雄
河西 宗一
河西 豊秋
金子 勝義
上島 喜雄
川原田芳純
北原 春雄
国枝為三郎
久保 健
窪田 睦明
小飼 清三
小島 一夫
小林 仁三
小林 鉄平
小松 愛三
小松 正雄
小松 友治
五味 重郎
五味 太郎
五味 智英
五味 正至
五味 祐幸
酒井武之助
田中 七郎
(里見七郎)
里見 史郎
塩原 信一
篠原 久
篠原 吉郎
関 義茂
高木 邦夫
高木 忠男
武井 良雄
竹内 厚
千野 昌員
茅野 勇次
千村 勝美
土橋 亮二
勅使川原政雄
寺沢 濟
中沢 舛
中村 伸一
野口 吉次
浜 浩太郎
浜 浪雄

林 孝吉
原 一三郎
原 実雄
樋口 真
平谷 明
福島信三郎
藤森 正雄
藤原 直治
三沢理三治
三井 康陽
(三井基治)
宮坂 三郎
宮坂 真澄
宮沢秋太郎
宮沢 尚衛
村松 歳春
矢崎 良平
矢島 滋雄
柳平 一好
山口 昌雄
八幡 義雄

第29回生
大正12年入学

足助 時治
岩波 良次
岡沢 正
小河 長安
小口 好郎
金子 伝
川井敏太郎
小池 八雄
小川 利衛
(小平利衛)
小平 芳樹
三好 源三
(小林源三)
小松 三郎
小松 利衛
古村 弘夫
佐々木桂太郎
佐藤 孝雄
滝本 正彦
(下条正彦)
鈴木菊次郎
早山 康英
滝沢 通夫
竹入 富治
竹田 邦夫
竹村 浦治
(竹村弥六)
但馬淳一郎
竜田 誠一
立石 真二
田中 賢一
中村 好博
新村 五郎
平出 学治
増沢 要平
宮坂 益吉
宮原 国夫
宮田 二郎
菅沼 幸夫
(守矢幸夫)
両角 良昭
矢沢 良也

【物故者】
青木 茂
安藤 作衛

伊藤 信
今井 庄作
(今井基之)
岩波 勲寿
岩本 一二
牛山 茂樹
牛山 大次
木曾 昌人
(牛山昌人)
小口喜利雄
(小口 鉦雄)
小口和佐吉
(小口好一)
小口 徹
小口 直大
小口 良雄
小沢 正一
河西 昌則
河西 良雄
笠原 恒義
片倉 幸人
金子 良正
唐木栄一郎
木川 三男
北沢 恒雄
北沢 照雄
北沢 康夫
行田 耕二
黒川 等
後藤 倉実
小林 清一
(小林清信)
小林 寛一
小松 久磨
小松 英夫
五味 四郎
小山茂喜男
小山 恒雄
塩原 義男
篠原 英男
高木広之助
田中 勲
田中徳太郎
田中 好郎
塚田 顕一
土田 源春
土橋 政雄
寺島伊清男
長田 説雲
(長田信治)
宮下 藤治
(永田藤治)
中村 薦
伊藤 忠
(中山 忠)
中山 建樹
野口 義隆
野沢 平蔵
野村 義弘
(野村 博)
花岡 桂男
花岡 利雄
浜 孝久
浜 炳一郎
浜 光弥
小滝 一平
(林 一平)
林 孝一

林 新太郎
林 千万樹
原 治衛
原 林太郎
伴 恂三
平林五十雄
平林 元
平林 英雄
藤森 定能
藤森 春雄
布野今朝則
細田 与
増沢 修一
松木 利安
松沢 亮英
宮坂 清一
秋山 竹雄
(宮阪竹雄)
宮坂 兵衛
宮坂 宗磨
宮沢 豊久
矢ヶ崎嘉平
矢島 栄
矢島坂太郎
(矢島重義)
矢島 拓美
柳沢喜八郎
山崎 勇吉

第30回生
大正13年入学

伊藤 純夫
菊地 義雄
鈴木 栄
小松 七郎
(田中七郎)
塚越 武爾
藤森 修吉
茂呂 隼人
矢沢 好男
岩木 正弘
(山田正弘)
吉田今朝美

【物故者】
青木 昭衛
赤沼 政美
赤羽 千鳳
赤羽 太郎
有賀 宗次
有賀 正督
飯田 清市
飯山 和
林 宇市
(伊藤宇市)
伊藤千代三
伊藤 正美
伊藤 又吉
今井 奥衛
今井 抱一
岩波 岩雄
岩波 克己
岩波 慶一
上原 茂
牛山 忠八
牛山 光明
内山 歳雄
大島 喜美
太田 捲治
大野 正夫

小坂 親知
河西 清
笠原 慶朔
笠原 健
笠原 武男
池上 三郎
(上島三郎)
上条 清
上條寿美雄
小池袈裟六
小池 八二
小林 栄一
小林 善明
小松 茂人
小松勝三郎
小松 敏宏
五味 菊雄
五味 智
五味 民治
古村 五郎
佐々木 正
篠原 健吉
渋谷 熙
牛山象次郎
(瀬戸象次郎)
武居 国夫
中島 旻
中島 善吉
中谷 毅
新村 正幸
新村猶次郎
布谷 直樹
野明玄之助
野沢 信男
花岡 要蔵
浜 和克
林 達雄
林 道一
林 安男
林 康人
原 公夫
原田 文司
藤森 栄一
藤森喜代人
藤原 隆
藤原 恒雄
古山 達郎
堀内 吾一
堀川 鎮男
増沢 勇亀
松山 一音
(松山忠雄)
丸山景一郎
宮坂 嵩
宮坂 春吉
宮坂満喜三
宮坂 正美
宮沢 好司
柳沢三喜男
(宮本三喜男)
林 たか正
(武藤たか正)
両角 五郎
両角惣治郎
両角 武彦
矢崎 重雄
柳沢 三郎
高木 武男

(山田武男)
山田 楨広
横内 和吉
吉田光太郎
第 31 回生
大正 14 年入学

飯島喜太郎
池田 清二
小沢 幸一
帯刀 柳一
木村 吾市
小松 説蔵
五味 武雄
竹田 末春
土田 董
角田 稔
長瀬 運
中谷 恒夫
浜 義衛
藤井 五郎
峰尾 好郎
宮川 六美
宮沢 二郎
宮本貴四男
守屋 勝代
【物故者】
朝倉二三雄
有賀 剛
有賀 敏男
石井 茂
伊藤 耕一
井上 文雄
今井 喜七
今井 仁之
上原 栄義
牛山 博
牛山 美雄
小川 五郎
小口 貞夫
小口 敏雄
長田 又一
小沢 巻夫
寛 憲夫
河西 一雄
河西庄一郎
(河西義実)
笠原 章一
笠原 正二
笠原 二郎
笠原 文知
加藤雄二郎
金原 昇
北沢 菊松
北沢 七郎
北澤 禧秋
国枝 好俊
黒河内 博
小池 文雄
小林 卯一
小林 満
小林 保春
小松 茂
小松 敏明
五味 貞雄
坂本 桂
佐々木 清
嶋田慎一郎
関 睦男

第 32 回生
大正 15 年入学

朝倉 保平
阿部大七郎
有賀 好人
矢島 知實
(池上春男)
石田 正治
岩波 碩司
小川 正夫
小沢 要
折井 弘東
河西 源治
唐沢 邦夫
小林 康
小林 良男
森下 利三
(鹿野利三)
杉田 清一
鈴木 武
高木 一
立中 外信
田中 保
塚田 修一
西川 静雄
西澤 邦衛
春日 徹郎
(西山徹郎)
野本 喬樹
花岡 秀雄
波岡 博雄
林 整次郎
平出 槇
藤森 金男
小野 純孝
(古沢純孝)
古田 良雄

堀 諏訪一
三井 英造
宮坂 喜芳
森元 正一
矢野 幹
【物故者】
浅川 洋
伊藤 正夫
上原 重忠
牛山寅之助
(牛山市平)
大島 喜造
大和 文義
小口 耕平
小口 義春
河西 保雄
笠原 楨晴
安藤 光雄
(上条光雄)
上条 亘
久保 浩
黒河内 豊
小池東洋男
五味 正人
(高坂正人)
小松 賢一
小松 守司
小松 正男
丸山 政吉
(小松政吉)
武井 保治
(小松保治)
五味 久
近藤 麒一
坂本 正文
佐々木正道
田中 茂雄
茅野 栄一
中島二三夫
中谷 三郎
花岡 泰雄
浜 正一
林 正平
林 保之助
原 浅朋
原田 達夫
平出 功
平林 邦幸
平林 正二郎
平林 正大
落沢三喜雄
福地 正一
藤森 和夫
藤森 賢至
藤森 才次
星野 琢
増沢 茂
増沢 正秋
丸山 正武
御子柴永人
宮坂 増穂
森田 尚夫
両角 俊雄
矢崎 一美
矢島 明正
柳沢 利巳
山田 芳勝

第 33 回生
昭和 2 年入学

有賀 岡
矢田 満夫
(岩波満夫)
白田 一雄
大沢 気平
大輪 好輝
金子 保
後町 正秋
小林 五郎
小松 政雄
竹村 寿二
田島 泰平
茅野 丈夫
豊田 武男
林 実美
森山 活石
矢嶋 松朗
山田 久
【物故者】
伊東文次郎
伊藤 益吉
今井 精夫
今井 仁
牛山 茂
牛山 堯夫
大宮 勝
小川 博
小口 留
小口 松雄
小沢 直木
小尾 正
河西 市三
河西清之助
河西 武利
笠原 正三
笠原 保登
春日 俊夫
金井 経民
唐沢 照
木村佐一郎
草野一四郎
久保田正巳
小池 喜義
小飼 基允
小平 傳一
小平 道直
後町 俊雄
小林 七蔵
小松 克彦
小松 公平
五味 知雄
佐藤 俊秀
佐藤 博
白鳥彦五郎
関 正三
高階 成章
谷屋 寅男
中島 伸武
長田 明
中村 正夫
中村 吉英
名取 帝次
上村 重人
(西村重人)
野口 武久
野口 泰

浜 久内
樋口 潔
平出 日和
広木 実
平島 巖
藤森 穆
藤森 大一
藤森 秀雄
舟見 清
細川 清次
細川 隆
堀内 宗一
武居 勝臣
(増沢勝臣)
増沢 彦次
松沢 幸男
丸茂 邦男
翠川 憲治
宮坂 三郎
宮坂 乗
宮坂清左衛門
宮坂 正志
向山 博人
村松 三郎
矢島 重雄
柳沢 織
山岡 清

第 34 回生
昭和 3 年入学

有賀 正
安藤 次郎
飯島 一男
牛山 喜作
小沢 六平
乙黒 市蔵
金 明祚
(金田政明)
木下 清志
小池 好文
桜井 辰雄
岡本 睦
(関 睦)
永田 象一
中村 堅三
新村 五郎
野村 勇
鮎沢 秀治
(原 秀治)
丸山 弥六
守屋 重郎
矢崎 庄作
横内 義雄
【物故者】
蘆澤 秀也
有賀 数雄
有賀 勝
井内 末司
伊藤 常雄
伊藤裕太郎
上原 正一
上原 吉郎
植松 忠
牛山 昂
牛山 広
大滝 義郎
小口 善吉
小坂 吉男
笠原 正三

片倉 康吉
片倉 信吉
片倉 弘夫
金丸 定男
行田 潼吾
功刀 正巳
久保田 雄
小池 貞永
小池 正吉
小泉 弘
小林 正二
小林 辰男
小松 修一
五味 初男
古村 千春
佐々木信道
佐藤 正典
清水 勝彦
増沢喜八郎
(清水喜八郎)
菅沼麒一郎
杉田 賢郎
砂川 俊
早出 勝茂
武田 信夫
田中 正治
東城 経司
永井 昌宗
中島 重治
中島 光男
長島 正造
名取 和夫
花岡 郁実
花岡 利美
林 国市
林 正三
林 四郎
林 三千男
平林 正臣
福地 正雄
藤沢 義典
藤森 康司
藤森 貞夫
藤森清太郎
藤森 晴美
藤森 宏之
松田 義人
三沢 勝利
溝口 澄
宮坂 金一
宮坂 邦典
宮坂 三男
宮坂 芳夫
宮沢 唯夫
森野 勇
両角富太郎
矢崎 厚
矢崎 春夫
矢島 勝
柳沢 正敏
山田 秀三
山田 秀夫
湯田坂邦晴
吉野 善栄
米沢満洲彦

第 35 回生
昭和 4 年入学

赤羽 貞雄

飯沢 旺
飯島 式男
大和 進
小沢 忠雄
河西 教平
城取 春生
鈴木 正一
鈴木 道夫
名取 秀一
長谷川 昂
細川 嘉久
堀内 正
本田 金幸
増澤 良一
溝口 峯夫
宮坂 一郎
矢崎 芳郎
安野 二郎
吉野 富寿
【物故者】
鮎沢 民雄
青木 知秋
阿部 正美
安藤 定男
飯田 富男
飯山 一男
市山喜三雄
伊藤 一義
伊藤敬次郎
伊東 大祐
井上 文磨
今井 大助
牛山 吉秋
大塚 秀洋
大槻 貞一
小口 春三
小口 昌三
小口 博之
小口 力衛
小野 辰夫
織田 三重
加々美文人
河西 勇
河西 忍
河西 秀幹
笠原 貞芳
金子 肇
上条 豊
神沢 四郎
菊地 正吾
北沢武次郎
山下 敏夫
(久保敏夫)
倉沢 真彦
平井 秀夫
(小林秀夫)
小松 憲二
五味 利治
五味 芳保
五味 良行
笹岡 利通
里見 寛
清水 穆
清水 敏邦
竹村 計美
田中 益平
田中 義光
茅野 正一

茅野 立夫
中川 正男
中島広太郎
長田 実雄
名取 猛
浜 正一
浜 信次郎
浜 博臣
林 信次
林 正喜
宮坂 篤
(伴 篤)
平出 芳人
平沢美佐雄
平澤 貢
平林 三夫
藤森 清
藤森 勝市
(藤森辰人)
藤森 俊男
藤森 芳雄
細田 五郎
三沢 春郎
宮坂 春夫
宮崎政一郎
百瀬 常利
森山 宗一
両角 茂樹
矢崎 怜
矢崎 正男
横内 一雄

第 36 回生
昭和 5 年入学

赤羽 信男
鮎澤 新男
池田 勉
植松 継則
金井 昇
木村 功
栗田 和夫
平泉 伝治
(栗林伝治)
小島 安雄
小林 博
内藤 実
花岡内蔵之助
花岡 貞治
林 国愛
日達 清次
松澤 平一
宮原 頼治
吉田 直樹

平島 善美
(吉田善美)
【物故者】
浅野 克也
雨宮 峯音
飯山 次男
岩波 護介
牛山 登
太田 東作
太川 卓郎
小河原賢一
小口 勝一
小椋 正夫
岡田 義人
(春日義人)
唐木 鉄次
吉沢 政一
北沢 右三
北原 彦衛
功刀 剛
熊沢 律
熊沢 実
小海正一郎
五味九十二
(小林九十二)
小柳 統越
近藤 麟二
篠原 耐二
柴崎 幸夫
清水計佐幸
関島 正治
高木 嘉章
滝 徳門
竹内 諄
千野 貞義
寺島 六三
中川 英夫
中沢 邑吉
中村 一朗
中山 英雄
中山 友一
名取 直人
新村 太郎
野尻 静男
橋爪 直也
服部 勉
花岡 寿市
浜 正治
小松 隆男
(浜 隆男)
平塚 准
藤森 喬

増沢 弘善
松沢 勝司
丸山 鼎
丸山 泰二
小林 利重
(宮川利重)
宮阪 久治
宮阪 大二
宮坂 雅美
村松 豊
守屋甚一郎
矢崎 正康
柳平 重治
湯沢美喜雄
湯田利太郎
横内 政雄
吉沢 勇
吉田 好範
第 37 回生
昭和 6 年入学

赤羽今朝清
今井 久郎
植松音重郎
漆戸 義明
大蔵 光雄
荻原 元
金谷 一雄
菊地 栄
後藤 清一
小林 卓美
佐藤 義仲
武井八千雄
館山 茂
寺畑 信博
長田 弑丸
原田左千夫
(長田左千夫)
林 盛男
大代 益喜
(増沢 益喜)
丸茂 政喜
溝口 晴夫
宮入 剛雄
宮坂 喜治
山本 敏郎
【物故者】
飯田 彦吉
伊藤 国和
伊藤 光一
伊藤 貞一
牛山 邦夫
牛山 憲治

牛山 四郎
牛山 孝
内山 隆正
大和 千春
小口 助蔵
小口 大七
小口 速雄
小口 光三
小口安太郎
尾澤 賢一
岩本今朝吉
(河西今朝吉)
河西 竹治
春日 利介
金子 幸平
金子 幸男
吉川 泉
赤津 文雄
(小池文雄)
小飼 卯次
小林 正樹
五味 丸典
小山 信雄
酒井 義雄
清水 米二
菅沼 竜史
早出 守雄
高田 正夫
田中 親雄
土田 久知
土田 安定
土橋 知里
島山 泰
中沢 康夫
中島 良
中村 民弥
西村 芳雄
花岡 健郎
浜 一臣
浜 純一
浜 正治
林 博和
原田 和人
堀米 節雄
(平出節雄)
藤森 力
松島 誠
(藤森 誠)
青木 一桜
(保科一桜)
堀 清太郎
堀内 捨次

増沢 功
松尾 欽也
丸山 達男
三井 次郎
宮沢 義保
岡村 忠男
(守屋忠男)
矢島 博
矢島 守
矢島 光雄
山岡 福男
山崎 達
山田 秀雄
山田 安与
第 38 回生
昭和 7 年入学

有賀 教夫
飯田 長三
飯浜 弘
菊池 美彦
黒河内正秀
三枝 義人
佐藤 英二
菅沼 和夫
田中 誠爾
田中 富男
勅使河 武
内藤 智夫
内藤 弘
中沢 房人
中嶋 武夫
島山 賦標
花岡 正七
林 振承
細川 正治
堀内 惇
吉田 平二
【物故者】
鮎沢 秀侑
野口 正音
野本 正義
長谷川好道
浜 喜六
林 元一
原田 奎治
藤田 嘉幸
藤森久二弘
藤森 哲
藤森 直衛
堀川 澄郎
松井 澄寿
丸山 幸造
丸山 秀雄

(小川新一)
小川 弘之
小木曾岩雄
小口 清助
小口 満雄
小坂 定夫
小沢 達三
河西 孝雄
片倉 健吉
桑沢 義光
川村 佳雄
岸 芳雄
功刀 久木
熊沢 英城
菊地 国彦
(隈元国彦)
桑沢 一馬
小平 雄司
小林 俊明
小山英三郎
柴崎 光夫
清水 富雄
進藤 梅雄
陶山 雄吉
高橋 一男
武井 房幸
辰野 方明
田中 康夫
千賀 伸吾
土橋 賢三
味沢 幸吉
(中沢幸吉)
中田亮一郎
永田 泉
名取 太丸
名取 豊
並木 幹一
西沢 寛治
野口 正音
野本 正義
長谷川好道
浜 喜六
林 元一
原田 奎治
藤田 嘉幸
藤森久二弘
藤森 哲
藤森 直衛
堀川 澄郎
松井 澄寿
丸山 幸造
丸山 秀雄

第 39 回生
昭和 8 年入学

今井 英秋
河西 春男
川口 茂
小美濃良太
桜井 勲
進藤 文人
田島 清昇
中澤 節朗
林 安則
細川 俊介
細田金太郎
【物故者】
朝倉 暢
井内 豊文
池内 健二
宮南 逸夫
(伊藤逸夫)
岩波 大受
岩本 清志
上田 太郎
牛山 保
太田 松男
大槻 寿男
河西 敏彦
河内 伸博
北澤 淑夫
(河西淑夫)
金子 章
金子 巻五
鎌 登志雄
上島 昇
上條 智造
川久保文雄
川村 進
小平 勝七
金子 光行
(小林光行)
小林 嘉直

水岸 清治
矢崎 悦男
矢島 実
矢島 洋一
山岸 忠男
山崎 浅一
山田 彬
山田今朝雄
山田 重三
山田 力
山田 卷三
吉田 文輔
第 39 回生
昭和 8 年入学

今井 英秋
河西 春男
川口 茂
小美濃良太
桜井 勲
進藤 文人
田島 清昇
中澤 節朗
林 安則
細川 俊介
細田金太郎
【物故者】
朝倉 暢
井内 豊文
池内 健二
宮南 逸夫
(伊藤逸夫)
岩波 大受
岩本 清志
上田 太郎
牛山 保
太田 松男
大槻 寿男
河西 敏彦
河内 伸博
北澤 淑夫
(河西淑夫)
金子 章
金子 巻五
鎌 登志雄
上島 昇
上條 智造
川久保文雄
川村 進
小平 勝七
金子 光行
(小林光行)
小林 嘉直

佐々木高俊
佐々木達夫
佐藤 正秀
鮫島泰三郎
沢登 定教
清水 満
菅沼 新平
滝沢 聖互
千村 統一
土田 良知
土橋 保雄
長島 善次
仁科 岡穂
花岡 隆兵
浜 登利男
武 浜野
上原 利夫
(原 利夫)
樋口 兼雄
平林 輝彦
堀川 哲司
増沢 浦人
増沢 康郎
宮坂 晃一
宮坂 関二
宮坂 宗次
宮坂 喜雄
宮沢 欣一
矢ヶ崎文彦
矢崎 貞雄
矢崎 正輝
矢島 文人
柳平 忠次
山岡 芳男
山口 広人
山田 平一
山田 豊
渡辺 静雄

第 40 回生
昭和 9 年入学

雨宮 三郎
今井 實
岩波 健吉
金森 一郎
隈元 国輝
九蘭 聡
佐藤 喜一
伴野 嘉弘
(藤森嘉弘)
増沢 清市
溝口 晋吾
宮沢明之助

株式会社カワベ

代表取締役社長 川 辺 栄 一 (79 回生)

本社工場

〒394-0021 岡谷市郷田二丁目 1 番 20 号

TEL 0266-23-4145 FAX 0266-23-7111

有限会社 河西鉄工所

レーザ加工・精密板金・筐体

代表取締役 河 西 一 彦 (79 回生)

〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-51

電 話 0266-22-2546

F A X 0266-22-2582

宮沢 晃
宮本 敦
山田 晶
吉井浅次郎
【物故者】
有賀 文平
伊藤 長司
今井 弥六
江口 隆作
大久保千広
大和 保
小口 祐司
小坂 房雄
長田 五郎
小沢 超三
織田 明
帯川 卯十
河西 圭志
笠原 輝夫
上島 初
窪田 里美
窪田 政次
河野 喜夫
小平 貞樹
小林 治彦
小松 学
五味 基明
下條 貞幸
関川 吉夫
高木 正雄
竹内 寿
田中 旭
宮本彦次郎
(塚田亮弁)
土川 正春
土橋規矩見
中谷 弘文
名取 太郎
新村 喜一
林 孝男
林 平吉
平林 大八
藤森 克郎
藤森 耕介
藤森 俊隆
藤森 英利
水野 武人
両角 春水
矢島 敏朗
横井 康治
吉川 良宏
吉川 良寛
吉山 貢
若槻 候男
若林 正彦
第41回生
昭和10年入学
唐沢 英夫
小平 兼雄
鈴木 市郎
宮坂美喜夫
(武井美喜夫)
五味 泰巳
(藤沢泰巳)
宮坂 雅文
村瀬 尚
矢島 勝雄
山本 孝雄

吉村 博雄
【物故者】
有賀 敏文
飯島悌次郎
伊東 透
伊藤 昌一
上原 陵一
牛山 真一
牛山 文人
河西 義雄
春日 修
河島 和幸
北沢 清澄
久保 夏夫
小坂 四郎
小平 清人
小林 滝登
小林 鶴太
小林 勇吉
佐々木敏夫
佐藤 三郎
杉村 悟
諏訪 太一
武居 邦衛
竹科 正徳
塚越 豊
林 金男
林 吉雄
平出 武文
藤森 栄二
藤森 光久
細川 平二
堀内 光登
新田 慎人
(三井慎人)
矢崎 坂吉
矢島 貞雄
第42回生
昭和11年入学
伊藤十三男
伊藤 幸彦
稲垣 稔
後藤 邦男
小林 正紀
鯨島 淳
中島 康夫
西村 充
原 弘
宮坂 芳行
矢野 義郎
【物故者】
秋葉 千文
荒井 真平
伊藤 之明
伊藤 光昭
伊東 謙
岩本 弘
植松 康武
宇多川一男
小口 達郎
小口 昌
小口 喜平
川上 寿
木下 浩一
久保田三郎
小池 尚
小町谷夏彦
小松 秀保

五味 一寿
高橋 佐平
武居 亀吉
名塩 喜一
丹羽 勲
花岡 恒義
吉山伊三雄
(原伊三雄)
藤田 敏夫
藤森 憲
藤森 昌郎
小川 義尚
(藤森義尚)
堀川 浩俊
宮坂 安彦
両角 紀雄
矢島 脩造
山田 宰
吉田 三男
第43回生
昭和12年入学
有賀 正
安藤 浩
牛山 裕輔
加瀬 幸作
小松 宏
五味 真平
(五味晋兵衛)
篠原 登
谷村 平吉
名取 秀一
堀田 忠
松島 三郎
丸山 敏雄
山本 規
【物故者】
浅倉 貢
浅沢 博
飯島 久二
飯塚 善英
伊藤 博光
伊藤 正夫
伊藤 昌也
井上 秀雄
大河内一樹
(岩波一樹)
上原 健志
牛山 高美
大槻 雅男
小口 清人
小沢 重幸
佐一 登
川浦 博男
(北原博男)
小松 進
武居 英男
田中 保一
中村仲衛門
浜 毅
林 一宏
樋口八千男
藤森 和人
藤原 光明
堀川 勝男
増沢 忠一
松井 務

丸山 隆
三井 吉郎
宮沢 秀夫
山岡 敏幸
第44回生
昭和13年入学
藤森 文雄★
秋山 忠彦
伊藤 郁夫
今溝 太弘
岩垂 信
梅沢 彰
小穴 修
小口 悌示
小坂 安知
小野 敏治
河野 義雄
小池 一幸
佐藤 克巳
島田 信昭
関 廣人
中沢 武彦
中島 利昇
(中島健夫)
名取 暁
平林 尚次
山田 清
山田 良吉
山本 芳郎
横本 擴氣
【物故者】
有賀 高治
安藤銅之助
市川 正春
牛山 義勝
笠原 公夫
川北 康雄
北畠芳次郎
北村 剛一
窪田 国彦
小池 光男
小池 康雄
五味 義明
小山 助道
養田 栄
竹淵 繁雄
田中 孝治
田中 武
波切 徳博
野口 侃
野沢才二郎
花岡 義則
浜 哲夫
藤沢 徹夫
藤森 泰輔
堀川 春彦
丸茂 秀男
宮坂 恒夫
山辺 泉
吉江 淳
第45回生
昭和14年入学
井出 重喜
岡田 利彦
河西 誠
久保 俊朗
小平 麟哉
斉藤 憲興

高木 治夫
田中 正義
内藤 省三
西川 二郎
橋本 章
原 正博
中沢 忠雄
(細田忠雄)
真井崎光男
溝口 昌信
宮坂 弘
北沢 宣雄
(両角宣雄)
矢島 重彦
矢島 剛
岩波 弘道
大野要太郎
小口友三郎
河西 厚
河西 清明
金子 敬治
河島 昭和
岡本 秀弥
(後藤秀弥)
武居 啓直
田村 隆雄
土橋 守
花岡 寛雄
浜 豊茂
窪沢 光男
宮坂 一彦
山岡 健
山田善八郎
第46回生
昭和15年入学
井立 雅
市川 重男
伊東 和夫
鶴飼 貞正
鶴飼 博俊
牛山 竹良
大村 一徳
木下 太郎
久保田善亮
小川 昌弘
小松 澄男
笹岡 芳美
猿谷 武
武井 寛英
奈良 仁
新田 清
林 俊彦
福野 真也
増沢富士人
三浦 常夫
百瀬 昭一
矢崎 正夫
楊 集竜
【物故者】
牛山 清司
大久保一昭
小口 和男
河西 一
北澤 俊郎
北原 武門
久保 和彦
小松 一夫

岡崎 精一
岡村 正義
小口 浩
小口 真樹
河西 吉弥
加藤 益男
金井 恒巳
金井 陽
狩谷 昌胤
菊地 昇
北川 嘉伸
窪田 正繁
荊澤 孝光
小池 正良
小寺 新平
小林 民也
近藤 型
坂田 稔
坂本 善昭
澤村菊次郎
柴田 伸
島添 道弘
清水不二也
須賀 和夫
鋤柄 正昭
竹内 澄寛
竹村 皓人
津島輝一郎
長倉 昭
中島 優美
名取昭五郎
野口 保次
野沢 竹恵
平野 和夫
平野 健次
藤森 茂
藤森 誠之
藤森 正文
藤森 守
堀井 敏夫
堀川 謙治
益井 達雄
松村 健彦
真鍋 深
三茂 勘次
三村 和正
宮坂 充俊
矢崎 迪夫
安田 慶三
山川 芳男
山崎 照俊
山田 英夫
山田 元良
藤原 勝美
(吉川勝美)
【物故者】
朝倉 清元
居藤 弘
小澤 光彦
小飼卯四男
古村 敏健
佐藤 秀男
名執 勝人
新村洲巳夫
西岡 猛敏
西川 俊
林 守雄
樋口 重友

藤森 三平
堀川 晋平
増沢 千冬
増沢 英男
三輪 邦彦
渡辺 幸一
第49回生
昭和18年入学
池田 幸雄
池谷 保
伊東 清作
伊藤 亮
伊藤 亮
今井 哲哉
岩佐 由明
岩波 邦治
岩本 和雄
大石 一雄
大沢 宣元
大庭 清
荻原 雅以
小沢 重登
小沢 淳二
小尾 博巳
笠原 一彦
賀谷 礼三
金井 健
神村 和雄
川俣 京三
岸 貞三
北村 忠雄
小池 維大
後藤良太郎
小林喜八郎
小林 世昭
小林 幸雄
小松 俊一
斉藤 恭平
佐藤 圭司
沢木 信夫
穴戸 善也
志多 正兆
篠原 陽一
清水 睦
清水 亮
清田 太郎
高倉 健
高島 保
鷹巢 文夫
高以良親之輔
高橋 功
土橋 敬信
鶴田 雄甫
直井 幸夫
中井 一朗
中川 正
中村 浩
中山 宗春
名取 章
名取 厚
名取 一男
仁科 有一
根橋 文一
野原 弘久
橋本 晃一
幅 敏宏
浜野松太郎
林 光一

原山 享
平林 章作
細川 正倫
堀 昭男
前川 正則
間下 章弘
増沢 千弘
町田 武治
丸茂 克志
丸山 博
御園 謙藏
三井 哲夫
三井 佳彦
三原 和夫
宮崎 尚
向山 武夫
吉岡 正隆
渡辺 静男
【物故者】
赤羽 貞彦
天野 順行
市羽 雍典
伊藤 幸賢
伊東 輝明
今井 光彦
今村 護郎
三島喜祐司
(牛山喜祐司)
岡田 圭介
小川 洋
大和 成吉
柿木 金一
柿沢 一璋
川窪 雄幸
功力 昭英
小池 勝美
坂本 末好
柴田 昌男
松沢 茂
(田久保茂)
千葉 武次
本間真基夫
宮坂 松衛
宮坂 洋次
矢島 文雄
山田真喜男
横内 努
第50回生
昭和19年入学
荒井 徹夫
伊藤 進介
今井 溜
今井 雪夫
井村 雅洋
岩村 一正
上原 一
植松 千里
鶴飼 健
牛尼 敬二
内山 市男
宇都宮芳男
大島 邦夫
大島 正雄
大野田 治
大平 保幸
小口 良男
長田 義郎
小野 昭雄

小野沢弘志
勝野 之登
金子敬四郎
金子 幸弘
金子 良次
上條 雅夫
唐沢 千明
川上 徹也
蒲原 直信
君塚 頼久
倉林 邦夫
神戸 毅
神戸 宏
後町 和美
小寺 三郎
五味 紳一
佐藤 正
佐藤 時満
塩川 有三
柴田 快
清水 経男
白倉 勝行
鈴木 高文
須藤 邦夫
関 栄一
高橋 勇
高橋 宏充
田中 貢
頂 健一郎
塚本 康正
机 永治
土方 浩
土橋 利宏
寺島 康之
当麻 守彦
戸田 伸雄
鳥谷竜一郎
内藤 勝夫
永井 宏
長崎 利寛
中沢 恒夫
長野 昌文
中村 恒臣
名取 敦
西沢 祥一
橋本 堅作
浜 昇
早川 春雄
林 千彦
原 敏
兵藤 厚夫
平岡 一郎
平澤 秀介
平山 晴男
藤野 孝一
藤原 忠造
坪井 広茂
(細田 広茂)
堀野 良男
松下 栄一
内山 市男
宇都宮芳男
大島 邦夫
大島 正雄
大野田 治
大平 保幸
小口 良男
長田 義郎
小野 昭雄

矢島 篤
山田 俊仁
山田 雄幸
湯田坂秀雄
吉田 公
吉田 敏宏
脇坂 知明
和田 修一
【物故者】
荒木 秀房
飯田 敏雄
上原 尚
小口 基一
小口 昌利
笠原 敏男
久保田博人
小松 節
坂本敬一郎
辰野 安宏
名取 望
花岡 誠
花谷 栄三
原田 重春
平出 義長
本田 敏親
三尾 隆雄
両角 庸一
湯田坂益利
第51回生
昭和20年入学
青木 秀文
青柳 博
浅川 博文
雨宮 勲
有馬純一郎
飯田 輝武
出田 哲也
伊東 義郎
今井 康盛
植松今朝雄
牛山満喜司
榎本 弘
大下 晴一
大竹 郁夫
大月 洋右
岡田 年弘
岡村 光昭
小川 浩
奥田 三郎
小口 和勇
小口 賢司
小口 俊彦
小野 武
貝沼 譲
笠原 隆
笠原 理雄
笠原 正澄
片桐 久智
片倉 孝之
加藤 功
加藤 勝久
鴨志田 稔
住吉 武
(河内 武)
菊地 剛
釘本 直典
小池 正紀
小林 俊介

五味 儀則
古村 宏
小柳 舜瑞
斉間 享
塩澤 秀登
清水 聡
関 淳
園田 明生
高尾 豊吉
高木 喜世
高島 良夫
鷹部屋弘之
滝沢 泉
瀧澤 英夫
多久 誠五
田中 勝彦
田中秀次郎
谷口 良雄
塚田 拡
出川誠一郎
東城 英夫
土光 哲也
中川 誠一
中島 孝
中野 雅浩
中村 勤
中山 幸雄
名取 茂
名和 康雄
根谷崎敏彦
橋本 博
長谷川 実
長谷部周也
花岡 資貢
浜 敬
原田 良夫
春宮 良平
日毛 良次
藤木 靖也
藤沢 正明
藤田 忠雄
藤森 健吉
藤森 敏正
藤原 琢也
細川 幸二
穂積 良治
間下 伸彦
松山 格
御園 孝之
三村 実男
三宅 治
宮坂 晃
宮下 篤
向川原 保
武藤 康二
森田 幸夫
守屋 篤
両角 豪
矢沢 英一
矢島 益彦
柳平 直明
山田 顕義
山領 健二
湯村 潤一
渡辺 守知
【物故者】
有賀 一郎
飯山 克郎

伊藤 幸男
内池 春雄
岡田 幸夫
小河 法
金子 久徴
河合 彦直
小松 豊三
五味 孟治
五味 睦佳
関 忠義
中澤 博
浜野 久雄
林 孝行
林 宏一
堀内 信吾
宮沢 汪
両角 和人
矢島 信男
山田 卓治
若杉 秀一
第52回生
昭和21年入学
大野 徹
河西 孝雄
河西 保郎
小林 幹樹
小松 重隆
清水 貞夫
下平 一明
菅野 昭
永井 成明
藤沢 忠雄
松野 茂
御子柴誠一
宮坂 克昭
矢崎 昇
矢沢 博光
吉田 博彦
【物故者】
石井 末夫
岩波 一信
岩波 末広
神取 信明
木村 善一
榊原 茂
清水 進
野沢 健治
矢崎 貞男
山田 雅生
第53回生
昭和22年入学
伊藤 明
伊藤 進司
伊藤 千弘
岩田 明夫
上原 革穂
小池 一正
越石 保明
亀井 栄一
(後藤栄一)
五味今朝男
関 令明
高井 守
土田 博康
西利 武司
林 作衛
山田 隆三
【物故者】
阿部 一正
飯田 卷雄
伊藤 徳尹
河西 昌訓
吉澤 満雄
吉田 康二
米谷 謙二
第56回生
昭和25年入学
伊藤 康永
伊藤 洋二
上田 英三
牛山 健司
内川 紀元
大沢 康男
白鳥登志雄
滝田 博彬
田中 泰次
千野 真
寺島 伊一
中沢 喜浩
名取 重喜
林 勇
宮坂 基也
宮沢 武文
武藤 光世
谷戸 久夫
横溝竜伊知
渡辺 英一
【物故者】
小川 文忠
笠原 清人
小平 康英
小松 敏春
岡 夏京
(斉藤夏京)
関 健次郎
(高木健次郎)
竹村 弘
土田 久登
常盤麻喜男
長谷川尚孝
林 哲夫
平出 勝誠
三村 亨二
八木 弘
矢島 照司
矢島 利男
花岡 晨子
(山西晨子)
渡辺 祐二
第57回生
昭和26年入学
小松 重夫★
有賀 寛治
有賀 正雄
尾沢 増朗
小田切富幸
笠原 正彦
粥川 範之
倉沢 洋
小林今朝人
小林 哲
近藤 克巳
征矢 清
龍口 正彦
原 貞良
牧野 重徳

阿部 一正
飯田 卷雄
伊藤 徳尹
河西 昌訓
吉澤 満雄
吉田 康二
米谷 謙二
第56回生
昭和25年入学
伊藤 康永
伊藤 洋二
上田 英三
牛山 健司
内川 紀元
大沢 康男
白鳥登志雄
滝田 博彬
田中 泰次
千野 真
寺島 伊一
中沢 喜浩
名取 重喜
林 勇
宮坂 基也
宮沢 武文
武藤 光世
谷戸 久夫
横溝竜伊知
渡辺 英一
【物故者】
小川 文忠
笠原 清人
小平 康英
小松 敏春
岡 夏京
(斉藤夏京)
関 健次郎
(高木健次郎)
竹村 弘
土田 久登
常盤麻喜男
長谷川尚孝
林 哲夫
平出 勝誠
三村 亨二
八木 弘
矢島 照司
矢島 利男
花岡 晨子
(山西晨子)
渡辺 祐二
第57回生
昭和26年入学
小松 重夫★
有賀 寛治
有賀 正雄
尾沢 増朗
小田切富幸
笠原 正彦
粥川 範之
倉沢 洋
小林今朝人
小林 哲
近藤 克巳
征矢 清
龍口 正彦
原 貞良
牧野 重徳

山田 直匡
【物故者】
伊藤 昇
岩下 允交
牛山 清吉
牛山 晴朗
金子 邦雄
亀山 俊郎
岸田 光市
倉田 素伸
田中 準一
小池 俊直
(永田俊直)
中村 仁
矢崎 勝英
第58回生
昭和27年入学
伊藤 勝
大西 暉三
柿沢 崇
春日 博昭
片倉 庸介
金子 充宏
小林 昭七
五味 一
鈴木 達也
高木 広雄
竹部 武光
田中 千晴
茅野 充男
永崎 兼男
長崎 賢行
金子 満
(松沢 満)
宮坂 毅
宮坂 長秀
森川 治
山戸 英雄
谷田 晴明
原田 米作
(山本米作)
【物故者】
上原 良雄
小口 佳彦
小泉 博靖
武居 央
藤森 岑生
(花岡岑生)
林 孝明
堀内 茂
(堀内忠夫)
宮坂 望
村山 弘
両角 武
第59回生
昭和28年入学
東 康彦
伊東 吉長
岡田 健士
奥野 良一
小沢 征一
金井 明人
功刀 真一
小松 博
近藤 顯弘
永井 智昭
名取 忠
新村 實美

新村 守男
野沢 将
細田 侑洋
益井 安和
増沢 千尋
矢崎 邦彦
山田 聖
渡辺 裕
【物故者】
岩波 善信
大石純一郎
落合 城信
大和 実
笠島 弘己
安藤 祐三
(金子祐三)
北沢 良知
久保誠三郎
斉藤政之助
笹岡 世美
清水 忠義
中村 幸弘
野口真任男
第60回生
昭和29年入学
有泉 哲男
牛尼 泰輔
小口喜三夫
梶原 太一
唐沢 正治
小林友一郎
佐藤 文武
瀬戸 恒人
茅野 雅春
中村富士男
中山 峯雄
長谷川修平
平林 巻雄
藤森 夏実
松澤 孝泰
宮坂 敏
宮坂 博明
矢島 真吾
山岡 哲久
行成 猛
吉川 慎一
【物故者】
上津原 等
上原 一夫
小栗 厚夫
河西 茂樹
金子 文夫
久保田征外
鈴木 浩
山崎 篤巳
第61回生
昭和30年入学
中村 征治★
足助 俊郎
阿部 治平
太田 龍朗
荻原 靖
小口 恵司
片山 誠
上島 彰夫
神澤 道昭
北野 雅弘
北原 良男

宇治 謙吾
小口 真司
小口 嘉財
河合 俊明
菊池 昌宏
北原 秋彦
北原 正樹
倉沢 寛
小池 弘人
小林 清光
小松 隆
直原 正巳
進士 耕吉
武井 義治
田中 宗春
茅野 明彦
永井 嘉彦
長田 敏彦
中村 清信
根岸 広幸
浜 幸一
原田 善夫
平出 重保
藤森 清
細川 則子
堀 真理
牧野洋一郎
三井 浩二
宮坂 勝夫
宮坂 正
宮沢 文子
宮下 丈人
守屋喜代志
松原 雅子
(山岡雅子)
山岸 清人
山田 稔
山村 宜男
米山 厚
【物故者】
田代 清文
第82回生
昭和51年入学
小坂 史子
竹村美佐紀
(安部美佐紀)
宮嶋 武
小坂 浩男
柏原 英尚
金子 勝彦
久保田光昭
黒田 茂
小林 貴
駒津 光久
小松 稔
清水 章弘
清水 正巳
田中 淳
田中 隆寛
田中 実
小山 京子
(茅野京子)
東城 綱久
成山 浩幸
浜 俊明
林 多恵子
平井 和明
堀川 裕

三井 律子
宮坂 広夫
宮澤 清夫
村田 政弘
両角 平一
山田 実
湯沢 茂
米山 忠
第83回生
昭和52年入学
池原 一彦
伊藤 一彦
今井 清文
上原 徹
上原 稔
小川 利幸
上島 功
上條 朋子
唐沢 康義
小平 恒
小松 貴宏
小山 達也
塩原 正造
関 聖
武井 英樹
藤本 隆春
(竹島隆春)
茅野 孝徳
茅野 義彦
鶴見 哲也
藤森 慶一
藤森 慶一
松沢 哲也
西村 理佳
(丸茂理佳)
御子柴憲彦
御子柴秀行
水口 淳子
三石 忠
宮崎 岳
宮永 徹
守屋 茂
山本美奈子
第84回生
昭和53年入学
秋山 和英
伊井 昭彦
井出 光昭
牛山 文彦
牛山 吉彦
白田 孝
大久保岳彦
大澤 洋一
大輪 善司
笠原 芳文
竹内美保子
(金子美保子)
上條 和宏
窪田佳恵子
栗田 敏広
小出 敬一
越川 克也
大和田幸恵
(小高幸恵)
後藤 晃吉
小林 和詞
小林 弘昌
小松 功

斎藤 隆博
佐藤 和宏
佐野 聖司
神事 正實
杉本 誠
関 和彦
高野 一彦
土橋 博明
徳武 裕雄
長石 道博
中島 広樹
西沢 公良
野澤 重典
花岡 昇
花岡 洋史
佐井 康二
今井 康二
佐藤 美津
(牛山 美津)
Kam Junko
(小河原順子)
柿沢 美紀
波賀かおり
(河西かおり)
上島 達雄
上條 信也
小池 英彦
五味 義教
坂口 俊明
柴 健一
大橋 浩美
(柴本浩美)
青木 徹夫
青木 誠
鮎澤 茂
飯田 芳弘
伊藤 学
伊部 泰彦
小河原劬子
折井 健一
河西 陽子
(片倉陽子)
菊池 信雄
北澤 雅彦
北原 賢治
小林 和子
小林 大
小松 茂
清水 孝弘
鈴島 秀一
鷹野 雅弘
竹村操一郎
伊能 貴子
(永井貴子)
長井 俊彦
橋本 聡子
(二川聡子)
仁科 実
花岡安佐枝
酒井 利恵
(原田利恵)
岡部 聡子
(藤原聡子)
堀田 祐一
矢島 泰子
(堀江泰子)
下崎 文枝
(三浦文枝)
百瀬 勝利
森山 孝光
山川 信二

宮下 正敏
森山 和佳
(三輪和佳)
守屋 直幸
森谷 三穂
(両角三穂)
矢崎めぐみ
山川由紀子
山田 倫久
弓矢 圭子
吉沢 信行
第86回生
昭和55年入学
浅井 秀俊
今井 康二
佐藤 美津
(牛山 美津)
Kam Junko
(小河原順子)
柿沢 美紀
波賀かおり
(河西かおり)
上島 達雄
上條 信也
小池 英彦
五味 義教
坂口 俊明
柴 健一
大橋 浩美
(柴本浩美)
青木 徹夫
青木 誠
鮎澤 茂
飯田 芳弘
伊藤 学
伊部 泰彦
小河原劬子
折井 健一
河西 陽子
(片倉陽子)
菊池 信雄
北澤 雅彦
北原 賢治
小林 和子
小林 大
小松 茂
清水 孝弘
鈴島 秀一
鷹野 雅弘
竹村操一郎
伊能 貴子
(永井貴子)
長井 俊彦
橋本 聡子
(二川聡子)
仁科 実
花岡安佐枝
酒井 利恵
(原田利恵)
岡部 聡子
(藤原聡子)
堀田 祐一
矢島 泰子
(堀江泰子)
下崎 文枝
(三浦文枝)
百瀬 勝利
森山 孝光
山川 信二

河野 真弓
(山崎真弓)
山下 達也
山本 晃生
【物故者】
沼田 光起
第89回生
昭和58年入学
吉中 宏子
(天野宏子)
有賀 幸二
今井 邦子
今井 謙三
岩井 俊江
小笠原 寿
小川 輝敏
小口 理
小野 尚美
片桐 創
金田 淳
三原由美子
(亀割由美子)
鴨志田浩一
菊池 範幸
北原 慎一
中島恵理子
(小林恵理子)
小林 隆志
五味 隆
五味 聖裕
斎藤 雅夫
清水 昭成
加納 裕美
(角田裕美)
竹内 美博
田中 千浩
田中 浩
樽井佳代子
新見 香織
(中村香織)
土田由起子
(中村由起子)
中山 隆
名取 健志
丹羽 啓範
小口 ゆか
(橋爪ゆか)
浜島 信
平澤 匡
平田 新一
藤森 浩一
藤森 利治
藤森 喜久
増澤 義也
丸山 透
犬飼 恵
(柳沢 恵)
山口 岳春
米山 守
第90回生
昭和59年入学
有賀 瑞枝
伊藤 誠恭
浦野 治
高橋佐智子
(大瀧佐智子)
小口 奈々
小口 泰史

奥原 善史
河西 由美
梶 亮太
北川 美穂
小出 淳司
坂内美代子
清水 孝一
鈴木 愛
関 香織
関 裕行
高橋 寿明
高山 麻希
今井 直美
(武井直美)
武居 正剛
土合 博之
土屋 美穂
萩原 正美
(都丸正美)
永井 宏和
中村 毅
田中 祥子
(濱 祥子)
濱 孝章
岡島 祐子
(松田祐子)
百瀬 修司
森山 哲也
両角 俊哉
吉澤 憲一
米山 桂
第91回生
昭和60年入学
有賀由美子
安藤 寛明
伊東 春樹
丸山 功子
(今井功子)
牛山 香織
遠藤 香織
太田 暁美
小河 秀和
小口 賢哉
小口 英希
小口 都子
玉記巳奈子
(小野巳奈子)
笠原 美香
片倉 裕之
川北 友美
窪田 晴彦
久保村圭介
黒澤 弘之
小林 秀行
小松 雅美
佐々木和彦
関 賢次郎
前西ひろ美
(高木ひろ美)
高澤 昌至
玉井 久茂
土屋 景
常盤 紀之
中村 隆之
西山 昌秀
長谷川陽子
浜 栄司
浜 慶吾

林 裕治
原 実
宮下 路子
(廣瀬路子)
藤森 玉枝
堀川 康博
望月 芳枝
元木 香代
矢島 芳彦
山下 誠也
横内 公雄
前田 恵美
(吉沢恵美)
第92回生
昭和61年入学
星野 耕一★
青柳 照雄
飯濱 望
池上 和明
今井 進
岩松 浩史
岩本 貴寛
植松かおり
浦野 啓道
大沼 博
(岡村 博)
加藤 幸人
金子 英司
小池 尚
小林 法元
小林 浩
浦川 尚子
(五味尚子)
島崎由加里
関 明子
武井 敦子
谷水 智美
樽井 聡子
富井 康志
名取 昭人
諸田 千幸
(名取千幸)
仁科 健二
野澤 圭
野吹 ルミ
平林 栄二
藤森 祐治
布施谷有美
松澤 孝典
三澤 尊久
山口 聡
第93回生
昭和62年入学
雨宮 秀和
飯沢 千帆
岩井 克昭
岩波 幸一
牛山 亮一
枝田啓一郎
大沢 智
大野 勝子
大屋 顕
小口 哲洋
道 英美
(小口英美)
小野 岳史
葛西 准也

上条 信司
鴨志田有子
川村 葉子
北沢 正樹
北原 康稔
河野 光裕
小林 道元
五味 稔之
坂野 早苗
高沢 弘充
武井 航希
石井 理恵
(土屋理恵)
永沢 滋
中村 雄太
永由 隆憲
花岡 史彦
濱 亘
井関真美子
(林真美子)
平林 雄木
深瀬 長彰
降旗 琢丸
松沢 悠樹
松永 元宏
村田 修一
百瀬 浩志
柳沢 克彦
横山 明
【物故者】
有賀 英行
第94回生
昭和63年入学
鮎沢 朋美
湯本 茂子
(味澤茂子)
伊藤恵美子
伊東 勝彦
浦野 忠道
大畑友一朗
笠原 昌幸
菊池 吉樹
吉瀬 謙二
熊沢 美典
倉田 英樹
小林 憲治
小林 禪
小松 剛
早崎 緑
(小松 緑)
小松 容子
斉藤友紀恵
増沢 聡
町田 一己
水沢 信雄
谷内田 綾
(宮坂 綾)
宮坂 佳枝
宮下 孝
村田 匡次
矢崎 幸児
山口 徹
第96回生
平成2年入学
會田 理人
有賀 善紀
市川 克彦
伊藤 琢也
今井慎太郎
大竹 慎
大月 智
梶原 洋
金井 智幸
菊池 真理
北原 敦子
中村 祐子

(久保田祐子)
吉田さおり
(小島さおり)
小林 央生
小松佳世子
太田 里恵
(鈴木里恵)
竹内 憲司
竹内 崇豊
田中 秀樹
田畑耕一郎
戸田 克紀
加藤 聖子
(中澤聖子)
永沢 美佳
中村 理恵
根本 信
花岡 啓子
原田 圭太
堀内小百合
本田 健二
三浦 亜衣
三浦潤一郎
御子柴 敦
三沢 涼子
矢崎 大輔
仙道 彩
(山崎 彩)
山下由布子
湯沢 智弘
吉田 純也
第97回生
平成3年入学
中井いずみ
(青木いずみ)
伊藤 信彦
犬飼須我志
今溝 治翁
小笠原美樹
内藤 陽子
(小口陽子)
菊地まゆみ
熊谷 諭
小池 理恵
小松 順子
五味 節恵
捧 貞子
鈴木 哉子
高橋 綾
高橋 智樹
田中 健一
田中 由魅
中田 晃一
中村 考裕
早野 敦子
原 弘美
興 理恵
(宮坂理恵)
宮澤 康弘
浅川 美保
(両角美保)
矢花 美佳
山田 尚幸
山田 祥貴
吉澤佐智子
金子香英子
(吉田香英子)
【物故者】
福島 里美

北原 理恵
第98回生
平成4年入学
會田 琴子
有賀 千博
伊賀 寛
池島あさみ
井上 久人
今井 克憲
今井広一郎
今井 省吾
岩崎 香織
牛山 頼基
内山 啓
小口 得也
奥原 利光
小田 茂生
河西 奈穂
川田 水葉
北原 潤
久保川 守
小泉 博
小松 里美
酒井 咲子
(墨矢咲子)
坪田 梨乃
寺島 雅美
佐藤 寿子
(渡海寿子)
戸田かおる
西澤 崇浩
西村 成洋
馬場 京子
原 陽子
原田 隼人
増沢和歌子
丸山 芳章
山本 淳子
渡邊 実
第99回生
平成5年入学
青木 良祐
井俣 みか
入野眞紀子
植松 克彦
遠藤 裕之
岡村 和東
中村可奈子
(小口可奈子)
小口 真代
笠原 麻矢
川村 大輔
小池 貴子
小久保亜哉子
(小泉亜哉子)
小坂井祐治
小松 利之
春原 奈奈
田村 勇樹
中柄 毅志
中沢 拓也
永由八代子
西川 洋恵
葉玉 京子
花岡 容子
早野 義士
平林はるか
福島 里美

藤森栄一郎
藤森恵美子
藤原 匡史
堀内 大吾
水田 崇史
宮坂奈都子
矢島奈津子
山内 章弘
第100回生
平成6年入学
赤羽 貴紀
有賀美紗代
飯田 修一
岩村 美奈
植松 徹治
牛山 英人
小口 博正
山田 亜木
(河西亜木)
神澤 龍二
窪田 貴博
倉重 花恵
小平 潤
小林 太海
榛葉 瞳
鈴木 智子
角 理智
高橋 裕樹
高橋 正季
寺島小夜子
渡海 美紀
野澤 貴志
野原 寛子
浜 峰幸
林 一毅
原川 和泰
福島 知美
松下 恵子
宮坂 賢治
宮下 智吉
村上 健治
矢合 真弓
山崎 聡
第101回生
平成7年入学
岡 真也
尾平 崇
鎌倉 圭
窪田 智史
熊谷 憲
越田佐英子
小嶋 章史
佐竹 洋輔
佐藤 友紀
高木 宏明
高橋 国人
高橋 直季
竹入 正治
竹内 祐大
竹科 美歩
仲宗根智子
中田 留美
中村 恒介
古畑 奈美
堀木 洋平
増沢 聖生
御子柴直樹
宮川 亮

三宅 奈穂
宮坂千栄子
宮沢 克佳
宮澤 直也
丸茂 大介
両角 孝之
矢澤 悠哉
渡辺寿美子
第102回生
平成8年入学
赤羽 秀幸
朝比奈 愛
阿部 健一
石黒 弘二
伊藤 美穂
井上 展孝
大槻 正史
小林 与人
古村 沙樹
齊川征志郎
笹崎 太寿
高田 政義
土田 高志
鶴田 社広
根橋里江子
林 芳枝
樋口 理恵
藤崎 晶子
前澤 淳爾
町田 純一
丸山 竜司
三澤 陽一
宮崎 寛
向山 陽光
森 真奈美
矢崎 勇人
横内 友祐
第103回生
平成9年入学
朝比奈 愛
加藤 森衛
北原 清穂
小坪 健
佐藤 友紀
藤原 雅晴
新藤 智恵
高林 祐介
田中 慎哉
寺西 究哉
浜 真佐史
早野 真人
宮沢 裕章
宮原 晶子
望月 真
矢合 克行
第104回生
平成10年入学
青山 卓弘
伊藤 愛
柿澤 昌希
菊地絵里香
佐久 泰臣
副島 武志
祖父江有里子
渡海 義隆
永原沙弥果
中村 陽
原 亜耶

原 辰徳
原 佳大
藤原麻衣子
宮坂 佳樹
宮下 岳穂
矢澤由香里
第105回生
平成11年入学
赤羽 翼
石井 麻由
伊勢亀和弘
牛山 純一
大島 沙織
奥平きみ恵
唐澤 千夏
川崎 彩子
小林 佑弥
近藤 慎吾
篠田 知孝
曾根川智志
田中 裕子
土田 暁文
土佐 素史
中森 舞
濱 賢三
三浦 葉月
宮下 貴弘
山田 晴彦
山並 航
第106回生
平成12年入学
岡崎 萌
近藤 隼人
久保田友理
(清水友理)
高井健太郎
福原 奈美
宮坂 翔
横瀬早耶子
第107回生
平成13年入学
伊藤南海子
伊藤 優
岡 拓也
唐澤 尚子
唐澤 光香
川村亜佳佳
原 朋久
原 悠希
溝口 真
山田 沙和
第108回生
平成14年入学
今井すみれ
岩津 達也
宇治 麻衣
北原 佑子
櫛原 将史
高月 昂
(高 昂)
白敷 曜子
仁科 賢人
平林奈津美

藤村 香織
山田 勝俊
第109回生
平成15年入学
有賀 智美
今井 匠
蝦名 拓樹
鴨井 俊隆
熊谷 野絵
五味絵理香
佐藤 彩
城田 龍一
藤松 拓也
増田 隆秀
第110回生
平成16年入学
安 成
奥原あづみ
霍 然
栗山 匠
篠原健太郎
田中 和美
仲澤 綾華
中嶋 知也
原 波佳里
藤原 昂
第111回生
平成17年入学
今枝 舞子
小坂 祥
梶谷 あゆ
工藤 航
薩摩 桂
篠原 弘子
須田真理恵
高橋 みく
仁科 愛里
登玉 綾乃
長谷川正和
南 利栄
第112回生
平成18年入学
高橋 溪
高柳 実希
竹村 真澄
根橋 洋孝
第113回生
平成19年入学
上島 麻衣
小松 創一
松尾 玲麻
山本 鴻
王 斯速
第114回生
平成20年入学
飯島 舞
大島 優佳
長橋佑太郎
林 純也
林 岳史
原 翔吾
矢島由莉佳

★印の方は前回名簿で海外在住とし国内連絡先のない方です。